会報

第63号

2013.10

一般社団法人

静岡県危険物安全協会連合会

消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会

このポスターは、危険物安全週間推進協議会が制作しています。

会報

第 63 号

2013.10

一般社団法人

静岡県危険物安全協会連合会

●●● 目　　次 ●●●

◇ 会長あいさつ
（一社）静岡県危険物安全協会連合会会長---------- 山梨　透　1

◇ 会報の発行に寄せて
静岡県危機管理部消防保安課長　塩崎　弘典 ---------- 2

◇ 平成２５年度全国危険物安全大会 ---------- 3
消防庁長官表彰受賞者の紹介 ---------- 5
（一財）全国危険物安全協会理事長表彰・感謝状受賞者の紹介 ---------- 8

◇ ちょっとひといき
「２０１３年度　第３５回サントリー地域文化賞受賞」
（一社）静岡県危険物安全協会連合会副会長
浜松市危険物安全協会会長　鈴木　裕司 ---------- １６

◇ 国の動き
平成２４年の危険物関係法令の改正概要 ---------- １７
平成２４年危険物関係法令の主な通知 ---------- １９
平成２５年度危険物事故防止アクションプラン ---------- ２１

◇ ちょっとひといき
「マイ･ブーム「鉄道ジオラマ」格闘中」
富士宮市防火安全協会会長　山本　裕 ---------- ２３

◇ 平成２５年度（一社）静岡県危険物安全協会連合会創立記念大会 ---------- ２４

◇ ちょっとひといき
「夏の一夜」
焼津市危険物安全協会会長　池田　敦郎 ---------- ３０

◇ 危険物安全協会連絡会だより
「絆」
東部地区危険物安全協会連絡会 ---------- ３１

◇ ちょっとひといき
「ハワイ随想」
裾野市防火協会会長　柴田　泰彦 ---------- ３４
「単身赴任」
清水町防火協会会長　菊地　広明 ---------- ３５

◇ 危険物安全協会連絡会だより
「“焦らず、慌てず、諦めず“」
中部地区危険物安全協会連絡会 ---------- ３６

◇ ちょっとひといき
「目指せ大阪城２０１３！」
島田・北榛原地区危険物安全協会会長　仲田　勝利 ---------- ３８

◇　ちょっとひといき
「旅の思い出」
静岡県危険物安全協会広報委員
静岡市防災協会副会長　竹下　幸嗣 ---------- ３９

◇　危険物安全協会連絡会だより
「西風のたより」
西部地区危険物安全（保安管理）協会連絡会 ---------- ４０

◇　ちょっとひといき
「浜岡砂丘」
御前崎市危険物安全協会会長　宮城　道雄 ---------- ４３
「世界遺産への登山」
湖西市危険物安全協会会長　村田　匡人 ---------- ４４

◇　地区協会の広場
裾野市防火協会 ---------- ４５
富士市防火協会 ---------- ４７
藤枝市危険物安全協会 ---------- ５０
磐田市危険物安全協会 ---------- ５３

◇　ちょっとひといき
「好きこそものの上手なれ」
（一社）静岡県危険物安全協会連合会広報委員
島田・北榛原地区危険物安全協会副会長　中野　重男 ---------- ５７

◇　（一社）静岡県危険物安全協会連合会からのお知らせ
危険物取扱者保安講習のご案内 ---------- ５８
危険物取扱者試験予備講習のご案内 ---------- ５９
平成２４年度事業報告書 ---------- ６０
平成２４年度収支計算書 ---------- ６５
平成２５年度事業計画書 ---------- ６６
平成２５年度収支予算損益計算ベース ---------- ６９
視聴覚教材一覧 ---------- ７１
平成２５年度（一社）静岡県危険物安全協会連合会役員名簿 ---------- ７２
平成２５年度各種委員会委員の名簿 ---------- ７３

◇　地区協会事務局住所 ---------- ７４

◇　広告掲載企業
株式会社　稲取ゴルフクラブ（東伊豆町） ---------- １５
静岡シェル石油販売株式会社（静岡市） ---------- １８
株式会社　遠州日石（浜松市） ---------- ２２
高砂フードプロダクツ株式会社（袋井市） ---------- ３０
特種東海製紙株式会社（長泉町・島田市） ---------- ３５
伊豆市・伊豆の国市エルピーガス事業協同組合（田方） ---------- ６４

◇　編集後記 ---------- ７５

平常時の防災、大災害時を想定した減災という視点

（一社）静岡県危険物安全協会連合会
会　長　　山　梨　　透

年に一度行われる創立記念大会には、参加者全員で大会宣言を唱和するプログラムが設けられています。

私は、唱和の一員として、声を発しながら、自分の中に防災意識が喚起されてくるのを感じようと意識を澄ませます。

防災意識が喚起されたら、私たちはどんな防災行動をイメージするのでしょうか。

私は石油製品を取り扱う会社に入り４０年余りになります。その間、防災の拠り所にしたことは、次の２点でした。この姿勢で大過なくやってくることができました。

すなわち、①消防法に定められた諸基準を遵守すること。
②消防による立ち入り検査で、ご指摘を受けた事項を是正すること。

しかし、東日本大震災を目の当たりにした現在では、同じ規模の大災害を想定した防災対策とは何かという新しい課題が生じました。

あのように巨大な津波が現実のものと知られてから、過去の津波が運んだ砂などの堆積物を本格的に調べようとする動きが活発になりました。
８月２５日（日）の日本経済新聞に「関東大震災２００～４００年周期」という記事が掲載されました。
関東各地を発掘し、９ヵ所で津波とみられる痕跡を発見した。放射性同位体の分析から地震の発生年代も推定した。古文書の記録とも比較した。その結果、関東大震災と同タイプの地震が過去に少なくとも１４回は起きていた。

平常時には防災。しかし大災害を想定した場合には、被害を最小限に食い止める減災という視点で、対策が練られているようです。
次々に新しい知見が得られている現在、確かな情報を共有しながら、防災、減災のために、衆知を結集できる機会が増えているのは心強いことです。

会報の発行に寄せて

静岡県危機管理部消防保安課長
塩　崎　弘　典

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会の皆様におかれましては、平素から危険物に係る安全思想の普及をはじめ、危険物を取り扱う施設・設備等における自主的な安全管理体制を積極的に推進され、地域社会の安全確保に多大な貢献をいただいており、厚くお礼申し上げます。

さて、一昨年春に東日本大震災が発災し、昨年夏に内閣府は南海トラフ巨大地震の被害想定を発表しました。

それを受け、本県では、さる６月27日に第４次地震被害想定の第１次報告として津波浸水域、震度分布、液状化、人的・物的被害等を公表し、併せて想定被害をできる限り軽減するべく「地震・津波対策アクションプログラム2013」を打ち出しました。

これは、「減災」を基本理念とし、「地震・津波から命を守る」「被災後の県民生活を守る」「迅速、かつ着実に復旧、復興を成し遂げる」という３つの基本目標のもとに151の個別アクションを盛り込んだ計画であり、一人でも多くの県民の命を守ることを目指しています。

第４次地震被害想定では、南海トラフ巨大地震が発生した場合の本県の死者数は最大で約10万５千人と見込まれ、県民は不安感を高めています。それを解消するためにも、上記のアクションプログラムを着実に実施することが必要です。

ライフライン、交通施設及び経済被害等の被害想定については、今年秋に第２次報告として公表する予定ですので、いちはやく皆様にお伝えしてまいります。

県ではこうした東日本大震災を踏まえた取組みだけでなく、ガス災害対策や危険物施設等における災害対策など、今後も県民の皆様が安全で安心な生活を送ることができるよう、「『命』を守る危機管理」に一層取り組んで参りますので、引き続き皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会の益々の御発展と、会員企業の皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げます。

平成２５年度　全国危険物安全大会

平成２５年６月３日（月）、平成２５年度全国危険物安全大会が、東京都千代田区のスクワール麹町で、全国の危険物安全協会関係者をはじめ、久保信保消防庁長官など多数の関係者が出席し、盛大に開催されました。

式典は、消防庁長官の式辞に続き、消防庁長官表彰、（一財）全国危険物安全協会理事長表彰・感謝状の受賞者に表彰状・感謝状が授与された後、危険物安全大会宣言で締めくくられました。

最後に、ＮＨＫ解説主幹　山﨑登氏による「東日本大震災を取材して」と題した記念講演が行われました。

なお、当日受賞の栄誉に輝かれた本県関係者は次のとおりです。心からお祝い申し上げます。

（地区協会役職名等は受賞時のものです）

消　防　庁　長　官　表　彰

◆危険物保安功労者

山　梨　　透	静岡県危険物安全協会連合会会長
竹　下　幸　嗣	静岡市防災協会副会長 県危連広報委員

◆優良危険物関係事業所

有限会社　加藤燃料商会	吉田榛原危険物安全協会

（一財）全国危険物安全協会理事長表彰

◆危険物保安功労者（個人）

那須野　孝　之	御殿場市小山町危険物安全協会会長
望　月　久　司	静岡市防災協会副会長 県危連監事
岩　本　栄　久	浜松市危険物安全協会常任理事

◆優良危険物関係事業所

旭化成株式会社　富士支社	富士市防火協会

◆感　謝　状

古　屋　一　弥	東伊豆町危険物安全協会会長
池　田　八　束	浜松市危険物安全協会副会長

平成２５年度　全国危険物安全大会

日時：平成25年６月３日（月）
場所：スクワール麹町（東京都）

岡崎浩巳消防庁長官式辞

山梨会長　代表謝辞

保安功労者消防庁長官表彰受賞者

優良危険物関係事業所消防庁長官表彰受賞者

県内受賞者と消防庁長官

記念講演　ＮＨＫ論説主幹　山口登氏

総務省消防庁長官表彰

○危険物保安功労者（個人）
　山梨　透　静岡シェル石油販売株式会社代表取締役会長
　　（一社）静岡県危険物安全協会連合会会長
　　静岡市防災協会会長

本年６月３日（月）、ＪＲ中央線四ツ谷駅前のスクワール麹町において、平成２５年度全国危険物安全大会が開催されました。

その席上、私は、危険物保安功労者として、平成２５年度消防庁長官表彰を頂き、その上、受賞者代表謝辞の大役まで仰せつかりました。

私の父が創業した石油製品を販売する特約店に入社し、気がつけば４０年余の年月が経過していました。

その間、危険物の安全な取扱いのために、私たちが行ってきたことは、危険物取扱資格取得の奨励や、消防立ち入り検査でご指摘いただいた事項の是正など、石油製品を取り扱う以上、どの職場でも行っていることばかりです。

その結果、大過なく歩んでくることができましたことは、誠にありがたく、幸運なことだと言わざるを得ません。

このたびの受賞を、誠に光栄なことと受けとめながらも、同時に、危険物の安全な取扱い責任の重大さに思いが至り、身の引き締まる思いです。

総務省消防庁長官表彰

○危険物保安功労者（個人）
竹下　幸嗣　不二化製品株式会社代表取締役社長
静岡市防災協会副会長
（一社）静岡県危険物安全協会連合会広報委員

平成25年度危険物安全大会が６月３日東京麹町のスクワール麹町にて開催され、その席上危険物保安功労者として消防庁長官表彰を拝受致しました。

これも防災協会並びに消防局の皆様のご指導とご支援によるものと大変ありがたく感謝申し上げます。

危険物を取り扱っている関係で、防災訓練や講習会にはたびたび参加をさせていただき、また最先端の設備の見学や防災に対する考え方、その対応について勉強をさせていただきました。

当日も「東日本大震災を取材して」と題して記念講演が在りましたがその中で“正常化の偏見”という話がありました。

人はなかなか逃げない。なぜ避難しなかったか？

アンケートによると

避難が必要な大きな災害ではないと思った　61％

まさか自分の家まで危険になるとは思わなかった　45％　との事でした。

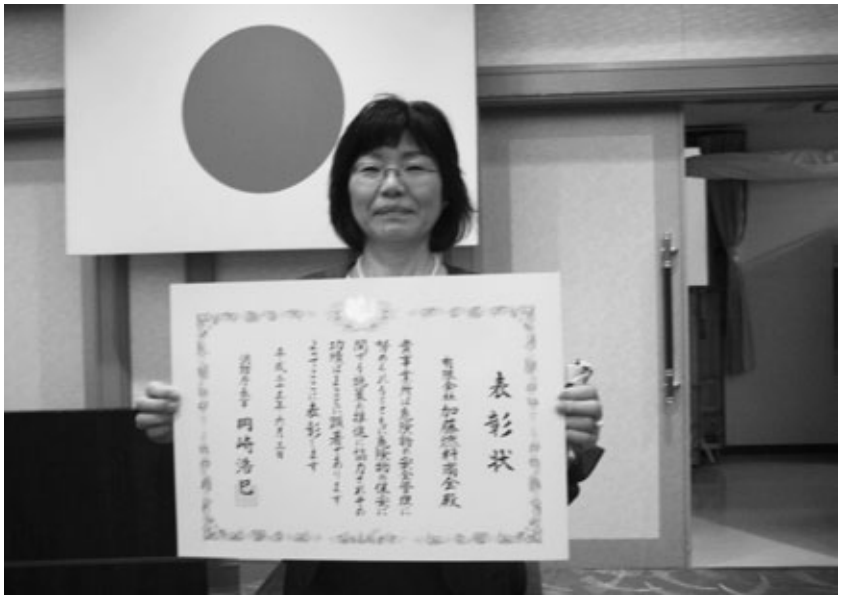
災害は忘れたころにやってくると言われますが、無災害が続き一安心と思っていると、気が緩み初動が遅れてしまいがちになります。

いざと言う時の為には基本に忠実で、訓練は頭ではなく体が覚えるまで続けることが大切なのかなと思いました。

今回の受賞を機になお一層防災意識の高揚と危険物の安全管理に努めたいと思います。引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

総務省消防庁長官表彰

○優良危険物関係事業所
　有限会社加藤燃料商会（吉田榛原危険物安全協会）



平成２５年６月３日、東京都内で開催されました平成２５年度危険物安全大会におきまして、消防庁長官より優良危険物関係事業所表彰の栄に浴しました。

これもひとえに、（一社）静岡県危険物安全協会連合会、吉田町牧之原市広域施設組合消防本部、吉田榛原危険物安全協会の皆様方のご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

有限会社加藤燃料商会は、昭和５１年より静岡県牧之原市静波においてＳＳ（サービスステーション）プロパンガス販売の小売業として地域の皆様と共に歩んでまいりました。前進は、昭和３６年より石炭、コークス、練炭を燃料とする工業用、家庭用に向け販売を手掛けお客様との会話を大切にし受け継いでまいりました。燃料も社会の発展と共に発達を遂げ、便利で安全なものになってきました。地域環境にも配慮され省エネ、高燃費で高性能な燃料になり扱う人にも危険を感じさせず使用されるようになってきましたが、人的な取り扱いミスによる事故は無くなりません。

弊社は、危険物の日常における管理、貯蔵、取り扱い等従業員と共に事故防止に努め、無事故、無災害の販売を目指します。また、お客様にも危険物の取り扱いを周知し、安全で安心な暮らしのお手伝いができるよう努力していきます。

この度の受賞に際しまして、吉田榛原危険物安全協会を始めとする関係の皆様の今後も変わらずのご指導とご協力を賜り、地域の皆様に信頼していただけるよう保安管理に努めてまいります。

（一財）全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）
㈲なすの塗料　代表取締役　那須野　孝之（御殿場市・小山町危険物安全協会会長）

このたび、平成２５年度危険物安全大会において全国危険物安全協会理事長より栄えある表彰をうけました。これもひとえに御殿場市・小山町消防本部の皆様並びに静岡県危険物安全協会連合会の皆様のご指導の賜物と感謝申し上げます。

顧みますと、縁あってなすの塗料に入社し３０数年、また地区協会の役員として２０有余年の歳月が経ちました。その間多くの先輩理事の方々や、消防職員の皆様方にご指導、ご鞭撻をいただきました。会社としても入社以来、危険物に関する事故・災害もなく過ごしてくることができました。関係機関の方々には大変感謝申し上げます。

私共が扱っている塗料業界でも強溶剤（第一石油類）から弱溶剤（第二石油類）また水性化へと使用溶剤の変化は進んでいますが、まだまだ有機溶剤に依存するところが大で、取り扱いには注意を必要とするところです。なかには引火点の低い溶剤を現場で混合する作業が必要になる塗料もあり、取り扱いを間違えると大きな事故を招く可能性もあります。

また、一部の二液反応型塗料のように一度に大量に混合し放置しておくと、自己反応熱により自然発火してしまう塗料もあり、取り扱いには注意を要します。このように、私たち販売店は、材料を売るだけでなく職人さんや塗装担当者、安全管理担当者にその材料の性質を説明し作業現場から事故を起こさぬよう協力する義務があると考えています。弊社では、日頃よりＭＳＤＳや製品説明書を必要に応じて添付させていただいております。幸いにもお客様先で塗料に起因する事故が発生したということは聞いていませんが、危険因子を１００％取り除くことはできません。ヒューマンエラーを防ぐためにも十分な製品説明が必要と考えています。表彰を機に、さらなる社員研修はもとより、販売先のお客様に対してもメーカーと協力し製品説明や取り扱いの注意喚起をしていきたいと、改めて痛感したしだいです。

今後とも、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。

（一財）全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）
静清塗料株式会社　代表取締役　望月久司
静岡市防災協会副会長
（一社）静岡県危険物安全協会連合会監事

この度、平成25年6月3日スクワール麹町会館で開催されました全国危険物安全大会において、危険物安全協会理事長表彰をいただき、身に余る光栄と厚くお礼申し上げます。

これも偏に日頃よりご指導いただいております、静岡県危険物安全協会連合会及び静岡市防災協会並びに関係各位の賜物と深く感謝しております。

今回、図らずも私が受賞させていただきましたが、危険物安全協会への参加、静岡塗料商業組合の理事長としての面もありますが、組合員各位による日頃の危険物への安全な取扱、危機管理への熱意ある取組みが表彰につながったのではないかと思っています。

2011年の東日本大震災から早いもので2年以上が経過しました。ともすると日常の中であの時の緊張感が薄れ、安全に対して気配りが疎かになりがちな時、この度の受賞により、私自身あの時のことを思い起こし身の引き締まる思いでした。

危険物を取り扱う企業として、より一層安全意識の高揚をはかり、危険物に対する安全管理を推進してまいります。また、現場においては日常的に自主点検を実施し、作業環境への理解を深め、自覚をもって取り組んでまいります。

今後とも関係各位と連絡を密にし、防災に努める所存でありますので、引き続きご指導の程よろしくお願い申し上げます。

（一財）全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）
岩本　栄久　協和建設協業組合　常務理事
浜松市危険物安全協会　常任理事

去る６月３日（一財）全国危険物安全協会主催の平成２５年度危険物安全大会におきまして、（一財）全国危険物安全協会理事長より、栄えある表彰をいただきましたことは、誠に光栄の至りと存じます。

これも偏に（一社）静岡県危険物安全協会連合会をはじめとする関係皆様方の日ごろからの御指導の賜物と感謝する次第でございます。

私の職場は、浜松市北区細江町にあり、建設工事関係の仕事で、昭和４２年から危険物の取扱いに従事してまいりました。その間大きな事故を起こすことなく無事に過ごすことができました。今回の受賞を期に再度職場内の従業員教育や施設管理、安全対策について取り組む所存でございます。

また、浜松市危険物安全協会の役員としても、協会の発展のために微力ではありますが、地域社会に貢献できるよう努力してまいりたいと思います。

終わりに、（一社）静岡県危険物安全協会連合会の益々の御発展と関係各位の御健勝を祈念申し上げます。

（一財）全国危険物安全協会理事長表彰

○優良危険物関係事業所
　旭化成株式会社　富士支社（富士市防火協会）

岡崎消防庁長官（左）と

平成２５年度危険物安全大会において、優良危険物関係事業所と認定され、（一財）全国危険物安全協会理事長表彰を受賞することができました。

これも、富士市防火協会、（一社）静岡県危険物安全協会連合会の関係者の皆様のご指導があってこそ受賞できたものであり、深く感謝いたします。

旭化成株式会社富士支社は、１９５８年に静岡県、富士市並びに周辺地域の方々のご協力により、田子の浦港の整備、岳南工業地帯の発展と共に、旭化成の主要拠点として出発し、活動を展開してまいりました。現在は、当社の付加価値製品の生産拠点として、また、当社最大規模の研究開発拠点として、多種多様な事業活動を継続しております。

今回の受賞は、継続的に実施している設備・作業に対する引火・爆発要素の除去活動、老朽化対策の見直し活動を中心に、災害の芽を事前に摘み取る活動や、万一に備え対応能力向上のために実施している地元富士市消防本部との合同訓練の継続、約半数を占める研究所部員も含めた保安教育など、日々の活動に対して評価して頂きました。

今後も、今回の受賞を励みに、事故、災害のない、より安全な工場づくりに取り組んでいきたいと思います。

（一財）全国危険物安全協会理事長感謝状

○感謝状
池田　八束　㈱池田屋商店　専務取締役
前浜松市危険物安全協会副会長

去る６月３日（一財）全国危険物安全協会主催の平成２５年度危険物安全大会におきまして、（一財）全国危険物安全協会理事長より、感謝状をいただきましたことは、偏に関係各位の御指導の賜物であると、深く感謝申し上げます。

思い起こせば、昭和５７年から旧引佐郡危険物安全協会の役員となり平成１０年には同会の会長として、協会の事業等に全身全霊で取り組んできたことを思い出します。

また、平成１８年には、４協会が合併し浜松市危険物安全協会の副会長として微力ではありますが、協会の運営に携わらせていただきました。

私は、前年度をもって役員を退任いたしましたが、この間無事に務めてこられたのも、家族の支えがあったからだと考えます。

これからは、陰ながら協会の運営を支援し、安全のために地域社会の一員として一層努力する所存であります。

終わりに、（一社）静岡県危険物安全協会連合会の益々の御発展と関係各位の御健勝を心から祈念申し上げます。

（一財）全国危険物安全協会理事長感謝状

全危協理事長感謝状を受賞して、我が故郷　東伊豆町

東伊豆町危険物安全協会
会　長　　古　屋　一　弥

全国危険物安全大会で全危協より本年度理事長感謝状を頂きました。これも、私がこよなく愛する東伊豆町の危険物に係わる皆様に支えられたからであり、関係者に感謝申し上げるとともに、故郷の紹介をさせていただきます。

東伊豆町は、温暖な気候に恵まれた伊豆半島東海岸の中央に位置し、東南は相模灘に面し、東北は伊東市赤沢に面し、北西は天城連山の万二郎・万三郎岳を境に伊豆市に接し、南西は河津町に接しています。

東西15.04km、南北13.78km、総面積は77.83k㎡地形は主として丘陵をなし、海に面していくつかの平地が点在し、豊かな温泉が湧出する、大川・北川・熱川・片瀬・白田・稲取の６つの温泉郷があります。

その中に人口約13,600名の人々が暮しています。

町のほぼ中央には白田川が東南に流れ町を二分し、道路は国道135号線が海岸線を、鉄道は伊豆急行が同じく海岸沿いを走っています。

みかんやわさびなどの農産物、金目鯛や伊勢えびなどの海産物、日々彩りを変える山々、細野高原には昨年秋数万人の観光客が、ススキを見物に訪れ、自然の恵みにあふれています。

夏涼しく、冬暖かい穏やかな気候のもと、海や山の豊かな自然に囲まれて、ダイビングやパラグライダー、ゴルフなどのスポーツも盛んに行われ、ゴルフ日本一の町を宣言しています。

各市町村の異議申し立て挑戦状を、いつでも受け付けております。

過去の挑戦市町村　成績（　　）内平均ストローク

第1回	平成11年9月21日	東京都多摩市53名平均ストローク（102.9）・東伊豆66名（88.3）
第2回	平成12年10月23日	千葉県野田市66名（89.2）埼玉県新座市65名(92.7)
		福岡県飯塚市55名（95.7）東伊豆72名（87.0）
第3回	平成13年10月9日	群馬県草津町76名（90.2）　東伊豆72名（87.0）
第4回	平成14年10月7日	群馬県片品町75名（88.5）　石川県富来町71名（92.5）東伊豆75名（85.0）
第5回	平成16年7月5日	埼玉県志木市67名（92.3）　東伊豆67名（85.5）

第6回　平成18年7月3日　　東日本障害者ゴルフ協会54名（95.4）　東伊豆62名（87.1）
何れにも勝利し連勝中。

第7回　平成25年11月18日　群馬県中之条町　対戦予定

町章

稲取町と城東村を和（輪）でつなぎ団結を表し、両翼をひろげ
はばたく姿で将来への発展を願う心を表しています。
全体で伊豆の地形と魚を表現し、丸は柑橘類を、そして三本の細い線と
中央の小さな円で観光地としての温泉を表現したものです。

この町章は、昭和４４年８月１日に制定されました。

東伊豆町危険物安全協会は、昭和５９年４月初代会長（小澤将男氏）46会員で設立、
2代会長（小林茂夫氏）・3代会長（栗田宇一氏）・4代会長（横田守夫氏）・5代会長（堤定夫氏）
6代会長（山田元樹氏）・7代会長（筆者）と受け継がれて来ました。
今後も全会員一丸となり、危険物に対する意識の高揚を図り、無事故の推進に努力してまいります。

東伊豆町の人々の起源を今に伝えるものとして、稲取ゴルフ場遺跡から発掘された十数個の細石器があります。
これは、移動生活をしていた約12000 ～ 13000年前の先土器時代の人々が狩猟などに使用したものと推測され、その後人々が集落を形成し定住をはじめたのは、縄文時代早期（約9500 ～ 6500年前）頃のようです。
町内には、奈良本地区の峠遺跡と穴ノ沢遺跡、白田地区の宮後峠遺跡から発掘によって確認されております。
ほかに竪穴状遺構や土坑が発見されており、その種類量などからこの時代の貴重な遺跡といえます。
弥生時代には稲作農耕文化が伝えられ、稲取地区の細野遺跡や崎町遺跡から弥生式土器が出土されており、当町でもこの時期から、稲作が行なわれていたことがわかります。

江戸時代には、海運の進歩により稲取港も大いに繁栄し、江戸城築城の際には、築城石として「伊豆石」を切り出し、船で運搬大川などから切り出された石が稲取港から江戸へ向けて出航したようです。
大川地区の旧下田街道脇に江戸城修築の際、運び残された『ぼなき石』と呼ばれる築城石があります。
稲取地区旧伊東街道脇に、築城石のうち２個『畳石と呼ばれる』が玄関先にあります。

明治時代に入り、東伊豆町は韮山県から足柄県に、明治９年には静岡県に属するようになり、このころから当町が、近代化の道を歩み始めるわけですが、町の発展に稲取村の村長を務めた田村又吉翁が大いに貢献され、現在町の主要産物となっているみかん栽培を広め、天草（てんぐさ）の製品開発に尽力し、私が学んだ小学校の建設等々、当町の発展に生涯を捧げた偉人です。さらに、町の発展に尽くした偉人として木村弥吉翁がおります。木村翁は明治41年に旧城東村大川に移り「絹サヤエンドウ」の早生栽培に成功するとともに、川に旅館を建て全国有数の観光地にしました。
戦後当町は、昭和34年に稲取町と城東村が合併して現在の東伊豆町が誕生いたしました。
このような素晴らしい町に、生まれ育った私です。今後とも宜しくお願い申しあげます。

稲取ゴルフクラブ

静岡県賀茂郡東伊豆町稲取3337
TEL 0557-95-2311・FAX 0557-95-0585

開場　昭和３９年７月
「海コース㊀山コース」 18ホール
「島コース㊁森コース」 18ホール

「海コース」は2万平米の広大な池を有しこの池に浮かぶ伊豆半島が名物となっています。距離も長く広さも充分。豪快なショットが楽しめます。

「山コース」は自然水を取り入れた池を随所に配置し、フェアウェイの微妙なアンジュレーションと打ち上げのグリーン。思った以上にタフなコースです。

「島コース」はアップダウンがあり比較的大きめのグリーン。風の影響を受けやすく正確なショットが要求されます。

「森コース」は森に囲まれたフェアウェイと小さめのグリーンがプレッシャーをかけます。ショートアイアンがスコアメイクの鍵。

温泉の町稲取に所在し、伊豆稲取駅から車で１３分。国道１３５号線から稲取高校を横目に登りで１０分。
北に「天城連山」南に「伊豆七島」。あるがままの自然を贅沢に生かしたコース設計。
太平洋に向かい展開する３６ホールズです。
海に向う芝目と微妙なアンジュレーション。フェアウェイに点在する数々のバンカーと戦略的に配置された絶妙な樹木が皆様の挑戦を待ち受けます。
穏やかな時の流れの中で春夏秋冬それぞれの風にふれながら心身を解き放して下さい。

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆

２０１３年度　第３５回サントリー地域文化賞受賞

（一社）静岡県危険物安全協会連合会　副会長
浜松市危険物安全協会　会長
鈴　木　裕　司

古来より、日本はトンボの古い呼び名であるアキツが群れ飛ぶ島であったことから「秋津島」と呼ばれ、イネの害虫を食べてくれるトンボは益虫として大事にされていました。その貴重なトンボが多く生息する磐田市の「桶ヶ谷沼」を保全しようと、長くこの沼に係わってまいりました。

「自然保護団体」「地元・地主」「県市行政」の三位一体による活動がこの度、評価され、この賞をいただくことになりました。私が「桶ヶ谷沼管理運営委員会　会長」を長年務めていますので大変に喜んでいます。

磐田市の東部に「トンボの楽園」と言われる周囲1.７ｋｍの桶ヶ谷沼があります。絶滅危惧種のベッコウトンボを初めとして、国内で記録のあるトンボの約３分の１にあたる７０種が確認されています。ここには「楽園」を維持・保全する為に、地域の人々と行政が一体となって取り組んできた試行錯誤と苦悩の歴史がありました。

１９６０年代から始まった地元の生物研究団体「野路会（ﾉﾐﾁﾉｶｲ）」の調査により、沼が豊富な「トンボ相」を持つ事がわかってきました。一方で沼の埋め立てや土砂の採取などの開発が進められていく中で、８６年、当時の地元のＪＣ仲間が中心となり「桶ヶ谷沼を考える会」が誕生しました。同会を中心とした地域団体の行政への働きかけが実を結び、８９年に県が沼と周辺の土地を購入。９１年には静岡県自然環境保全地域に指定され開発の危機は去りました。ところがその後も、渇水や植生の変化、幼虫のヤゴや水草を食べてしまうアメリカザリガニの大発生など、ベッコウトンボの危機は次々と訪れ、現在に至っています。

里山の復元やトンボエリアの造成、一般参加のトンボ観測会、トンボ個体数調査など、現在も多くのイベントを開催して「自然環境指標生物」（自然の豊かさを、ときにはその危機を教えてくれる身近な生き物のことです。種固有の環境に棲み分け、四季折々に現れては、さまざまなメッセージを伝えてくれます。）であるトンボの保護に努めています。

写真は今年６月に長野県駒ヶ根市で開催された「全国トンボ市民サミット」に磐田から大勢で参加してまいりました。Ｂ級グルメのソースカツ丼を食べてきました。

☆☆☆ 国の動き ☆☆☆

～平成２４年の危険物関係法令の改正概要～

参照資料：平成25年度全国危険物取扱者保安講習講師研修会、（一財）全国危険物安全協会保安講習テキスト

１．危険物施設の地震・津波対策に係わる予防規程の策定に関する事項
（危規則第60条の2第11号の２関係）

予防規程に定めなければならない事項に、地震が発生した場合に加え、地震に伴う津波が発生し、又は発生するおそれがある場合における施設及び設備に対する点検、応急措置等に関することが追加された。

①地方公共団体等が作成する津波浸水想定区域図等において津波による浸水が想定された地域に所在する製造所等。また、津波浸水想定区域図等が見直された場合は、対象となる製造所等もその都度見直す必要あり

②予防規程に盛り込むべき主な事項

・従業員等への連絡方法
・従業員等の安全確保等に係る対応
・施設の緊急停止の方法、手順等
・施設の緊急停止等の実施体制
・従業員への教育及び定期的な訓練
・従業員以外の入構者に対する避難に係る事項の周知

２．危険物を用いた蓄電池設備を設置する一般取扱所に係る技術上の基準
（危政令第19条第2項第9号、危規則第28条の54第9号、危規則第28条の60の４関係）

リチウムイオン蓄電池には、電解液に消防法上の第4類の危険物が用いられている。リチウムイオン蓄電池設備を用いて放充電を行う際、リチウムイオン蓄電池の電解液に電気を通すため、当該蓄電池設備では電解液を取り扱う。従って、蓄電池設備における電解液の量が指定数量以上となる場合、当該蓄電池設備は一般取扱所に設置しなければならない。

３．顧客用固定給油設備に掲げる表示及び当該設備に彩色を施す場合の色に関する事項
（危規則第28条の2の5第5号ロ関係）

危給油取扱所においてエタノールを10%含有するガソリン等を新たに取り扱う事が可能となったことに鑑み、顧客自ら給油等をさせる給油取扱所において、E10等を取り扱う顧客用固定給油設備に掲げる表示及び当該設備に彩色を施す場合の色が定められた。

・顧客用固定給油設備に掲げる表示
・彩色を施す場合の色（文字、背景、給油ホース、ノズルカバー等）

危険物の種類	文字	色
自動車ガソリン （K2202　１号）	ハイオクガソリン 又は　ハイオク	黄
自動車ガソリン （K2202　１号（E））	ハイオクガソリン（E） 又は　ハイオク（E）	ピンク
自動車ガソリン （K2202　２号）	レギュラーガソリン 又は レギュラー	赤
自動車ガソリン （K2202　２号（E））	レギュラーガソリン（E） 又は レギュラー（E）	紫
軽油	軽油 プレミアム軽油	緑
		黄緑
灯油	灯油	青

４．圧縮水素充填設備設置給油取扱所に係わる技術上の基準に関する事項
（危規則第28条の2の7第2項、危規則第28条の2の8第４項関係）

圧縮水素充填設備を設ける「顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所」及び「顧客に自ら給油等をさせるエタノール等の給油取扱所」の位置、構造及び設備に係わる技術上の基準が定められた。

静岡シェルグループがおすすめする
太陽光発電のある暮らし

ECOを暮らしに活かそう!

太陽が教えてくれた。太陽が育んでくれた。

静岡シェル石油販売株式会社
TEL.054-254-0330
静岡市葵区茶町２丁目1番地
E-mail : solar@omakasekun.net
おまかせくんソーラー　検 索

～平成２４年危険物関係法令の主な通知～

参照資料：平成25年度全国危険物取扱者保安講習講師研修会、（一財）全国危険物安全協会保安講習テキスト

平成25年度危険物取扱者保安講習テキスト―（一財）全国危険物安全協会より抜粋―

１．東日本大震災を踏まえた危険物施設の地震・津波対策の推進について

（平成24年1月31日　消防危第28号）

平成23年3月11日に発生した東日本大震災における危険物施設の被害事例に照らした地震・津波対策に対して示された

２．平成24年度危険物事故防止アクションプランの取組について

（平成24年3月12日　消防危第70号）

「危険物事故防止基本方針・アクションプラン」に基づく全体的な行動計画として、「平成24年度危険物事故防止アクションプラン」をとりまとめ、危険物事故防止に関する重点項目を設定し、官民一体となった事故防止対策を推進することとされた。

３．「危険物に係わる事故及びコンビナート等特別防災区域における事故の報告」の一部変更について

（平成24年3月13日　消防危第71号・消防特第39号）

危険物に係わる事故及びコンビナート等特別防災区域における事故の報告において、報告に係わる取扱が改正された。

４．浮き蓋付特定屋外貯蔵タンクに係わる技術基準の運用について

（平成24年3月28日　消防危第88号）

浮き蓋付特定屋外貯蔵タンクの技術上の基準が整備されたことから、浮き蓋付特定屋外貯蔵タンクに係わる技術基準の運用についての留意事項が示された。

５．認定事業所が行う変更工事に係わる完成検査済み証等の交付迅速化に向けた手法について

（平成24年3月30日　消防危第89号）

認定事業所が行う危険物施設の変更工事に係わる手続きの迅速化にむけた手法のあり方が示された。

６．「消火設備及び警報設備に係わる危険物施設の規制に関する規則の一部を改正する省令の運用について（通知）」の一部改正について

（平成24年3月30日　消防危第90号）

製造所等の消火設備に関する技術上の基準の細目である運用指針が改められた。

７．ナトリウム・硫黄電池を設置する一般取扱所の火災対策について

（平成24年6月7日　消防危第154号）

ナトリウム・硫黄電池を設置する一般取扱所において火災が発生した。この火災は、火災発生から短時間で延焼拡大し、覚知から鎮圧、鎮火までに長期間要したことから、当該火災の発生原因及び延焼拡大要因が明らかになるとともに、他のナトリウム・硫黄蓄電池施設を含めた当面の延焼防止対策が取りまとめられた。

８．屋外貯蔵タンクの津波被害シミュレーションツールの提供について

（平成24年8月1日　消防危第184号）

屋外貯蔵タンクについては、津波被害シミュレーションを実施して、具体的な被害予測を行ったうえで、津波対策に係わる検証を行うこととしており、屋外貯蔵タンクの津波被害シミュレーションツールが製作されたことが示された。

9．危険物施設の地震・津波対策に係わる予防規程の策定について

（平成24年8月21日　消防危第197号）

危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令により、危険物の規制に関する規則第60条の２第1項第11号の２が改正され、予防規程に定めなければならない事項に、地震が発生した場合に加え、地震に伴う津波が発生し、又は発生するおそれがある場合における施設及び設備に関する点検、応急措置等に関することが追加されたことを踏まえ、当該事項として予防規程に盛り込むべき主な事項等が取りまとめられた。

10. 既設の地下貯蔵タンクに対する流出事故防止対策の徹底について

（平成24年9月12日　消防危第208号）

腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンク等について、流出事故防止対策を平成25年１月31日までに措置することとされており、今般、地下貯蔵タンクの流出事故防止対策に係わる事項について取りまとめられた。

①経過措置期間までの対応

腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンクの把握

・所有者等への周知及び実情に応じた助言

・変更許可手続の迅速化

②経過措置期間後の対応

・速やかに立入検査を行い、違反事実を通知するとともに、期限（１週間から１ヶ月程度）内に具体的な改修予定期日を記載した改修計画又は改修報告書を提出するよう指導すること。（改修予定期日が社会通念上是正可能と認められる客観的な所要日数と火災予防状の必要性とを比較して妥当であることを確認。内容に不備があれば再提出指導）

・改修計画又は改修報告書を期限内に提出しないもの及び改修計画の改修予定期日に改修が完了しないものについては、違反処理基準に基づき速やかな警告書の交付、基準適合命令の発出等所要の措置を講じること。

・やむを得ず改修まで期日を要する場合は、地下貯蔵タンクの漏れの点検の頻度を上げる等の必要な対策を講じるよう指導すること。

・災害発生危険が著しく大きい場合には、改修計画の提出を待つことなく、基準適合命令の発出等所要の措置を講じること。

11. 化学プラントにおける事故防止の徹底について

（平成24年10月1日　消防危第220号・消防特第195号）

死傷者を伴う爆発火災が発生したことにかんがみ、同種事故再発防止とともに事故後の適切な対応を図るため、下記事項について化学プラントを有する関係事業者に対し徹底することとされた。

１　化学反応を伴う製造工程、自己反応により温度や圧力が上昇するおそれのある化学物質について、安全に制御する為の条件を再認識し、従業者に徹底周知する。

２　異常が生じたかどうかの監視方法や判断指標を再確認し、適切な運転管理をすること

３　暴走反応等異常な現象が生じた場合、石油コンビナート等災害防止法第23条第1項の規定に基づき、直ちに消防機関に通報することを徹底すること。

４　爆発や災害の発生危険性及びその影響範囲について、現場対応にあたる従業者、現場に到着した消防隊に周知し、適切に安全管理を行う事ができるよう、あらかじめ計画、訓練すること。

５　上記１～４に対し、必要に応じ、対策の見直しを図ること。

☆☆☆ 国の動き ☆☆☆

～平成２５年度危険物事故防止アクションプラン～

（総務省資料から作成）

〈趣旨〉

危険物施設における事項防止策については、平成１５年より、危険物関係業界・団体、研究機関、消防関係行政機関等から構成される「危険物等事故防止対策情報連絡会」を消防庁で開催するとともに、構成メンバーが行う事故防止対策の行動計画として、年度ごとに「危険物事故防止アクションプラン」をとりまとめ、官民一体となった事故防止対策を推進している。

以下は、平成２５年度のアクションプランの抜粋である。

１　危険物事故防止に関する重点項目

危険物施設の事故の件数を減少させるためには、「業種を超えた事故の情報の共有」を図り、同様の事故をできるだけ減らしていくことが重要である。

近年の危険物に係わる事故や東日本大震災及の状況に鑑み、次の項目を重点として事故防止策を講ずる必要がある。

［重点項目］

（１）　地震・津波対策の推進
（２）　経年劣化による流出事故防止対策の推進
（３）　保安教育の充実
（４）　異常発生時における応急対応能力の向上

２　危険物事故防止のための取り組み事例

（１）　業種を超えた事故の情報の共有
　　業界団体との事故情報の共有を継続して実施　他９事例

（２）　地震・津波対策の推進
　　津波襲来が予想される場合の緊急停止措置の対応、避難時の対応を検証し、予防規程の見直しを図った。また、見直した予防規程の内容の従業員への周知と、訓練を実施。他８事例

（３）　日常点検の推進
　　腐食・劣化の生じやすい箇所を点検ポイントとして整備し、定期的な教育に活用。他９事例

（４）　保安教育の充実
　　ＴＭＰや５Ｓを通じたＯＪＴを実施　他１０事例

（５）　経年劣化による流出事項防止策の推進
　　事業所の運転・保全検査・保安部門で設備傾向診断情報を定期的に共有化　他９事例

3　**団体・機関別の実施要領**〈(一財) 全国危険物安全協会についてのみ記載〉

（１）　重点項目

1）保安教育の充実

2）危険物施設の安全・環境対策の推進

（２）具体的実施事項

1）保安教育の充実

①危険物に関する安全思想の普及啓発
　ポスターの作成・講習会の実施等

②危険物取扱者の法定講習に対する支援
　テキスト、教養図書の作成等

③危険物事故防止対策のための消防機関への支援
　マニュアルの作成、研修会の実施等

2）危険物施設の安全・環境対策の推進

①地下タンク等定期点検制度の実施
　講習会の実施、事業者の指導育成等

②ＦＲＰ内面ライニング施工事業者認定等の実施
　施工の認定、事業者の指導育成等

③危険物の安全対策に関する調査研究
　危険物施設の維持管理や事故防止のための調査検討

車のトータル・プランナー

株式会社 遠州日石　代表取締役社長　鈴木 裕司

・直営13SS(フルサービス4・セルフサービス9)
・販売店22SS(フルサービス18・セルフサービス4)
・車検センター(民間車検工場)・自動車保険
・カーリース･レンタカー・工業用潤滑油

本 社　　静岡県浜松市中区常盤町2-2
Tel(053)454-7431　Fax(054)454-0526

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆

マイ・ブーム「鉄道ジオラマ」格闘中

富士宮市防火安全協会
会　長　　山　本　　裕

家業は車屋ですが安全、正確尚且つ寝ていける鉄道が昔から大好きです。

業界の役が多く電車で移動をします。今では沼津三島から東、静岡焼津から西はほとんど電車を使います。

５年位前、ＪＲで静岡に向かう時、先頭車両の一番前に立ちました。運転手が時刻表、時計、計器、通過信号を指差し呼称確認をしており、各駅の到着出発時間の誤差が10～20秒しか違わないことに驚き、さらにいつも見る風景の違いに感動し、今では機会あるたびに先頭に乗るようにして移動をエンジョイしています。

ジオラマには興味を持っていました。２年ほど前、物置の片づけをしていたら昔親に買ってもらった鉄道模型セットが出てきました。何十年ぶりに組み立てて動かしました。まるで童心にかえったような思いがしジオラマを作る決心をしました。

初めは半畳位の小さめから女房に遠慮しながら部屋の隅でこそこそと始めました。

しかし鉄道博物館・ホビーショー・模型店・雑誌等を見て回り自分との葛藤が始りました。畳一枚、二枚と拡大していきついに４枚分となってしまいました、その度バラバラに解体の繰返しです。現在作業スペースを入れて６畳分を占領していますが倍位までは拡張可能です。しかしこれ以上大きくなると収拾がつかずさらに外的圧力が高まる危険性がありますので自分の心にフルブレーキをかけています。

ジオラマに向かうと時間がアッという間に過ぎてしまいます。またいろいろなアイデアが次から次へと湧き出てきます。今まで使っていなかった脳が活発に動いています。

また制作中は立ったり座ったり部屋を歩き回ったりします。まるで筋トレか格闘技をしているようです。まさかジオラマでフクラハギや腕が筋肉痛になるとは想像もしておりませんでした。

「いつ完成か？」と聞かれますがトンネル工事・河川改修・壁面工事・植樹に田畑住宅駅作り等難工事が山積みです。

何よりも大きいジオラマの為車両が足りず資金難に直面しており大蔵省と予算折衝中です。この壁超えは難しいですね。

還暦になりましたのでゆっくりやっていこうと思っています。

ジオラマ全景

試運転風景

孫のいたずら（500系ピンチ）

平成２５年度(一社)静岡県危険物安全協会連合会創立記念大会

平成２５年９月１７日（火)、(一社）静岡県危険物安全協会連合会の第４３回創立記念大会が、静岡市のグランシップで盛大に開催されました。当日は、来賓として静岡県危機管監小川英雄様、静岡県危機管理部消防保安課長塩崎弘典様、静岡県消防長会事務局長岩崎幹生様のご臨席を賜り、また多くの地区協会の関係の皆様のご参加をいただきました。

山梨透会長のあいさつの後、長く保安功労等に務められた個人と事業所に対し、静岡県知事及び連合会会長から、賞状、褒状、表彰状又は感謝状がそれぞれ授与されました。

その後、静岡理工科大学教授の志村史夫氏より「日本人の忘れもの－フーテンの寅さんに学ぶ－」と題して記念講演を行いました。

（１）**静岡県知事表彰**

（保安功労者表彰）

鈴　木　　厚	磐田市（磐田市危険物安全協会）

（優良事業所）

田子の浦埠頭株式会社	富士市（富士市防災協会）
三井・デュポンフロロケミカル株式会社清水工場	静岡市（静岡市防災協会）

（２）　**静岡県知事褒賞**

（保安功労者）

芹　澤　正　行	伊豆の国市（田方防火協会）
遠　藤　友喜彦	沼津市（沼津市防火協会）
土　屋　　仁	藤枝市（藤枝市危険物安全協会）
加　藤　和　男	掛川市（掛川市危険物安全協会）

（優良事業所）

清水農業協同組合	静岡市（静岡市防災協会）
日本たばこ産業株式会社浜松工場	浜松市（浜松市危険物安全協会）

山梨透会長挨拶

記念式典の様子

（3）**（一社）静岡県危険物安全協会連合会　会長表彰**

（保安功労者）

内　田　孝　雄	熱海市防火協会
土　屋　恭　博	沼津市防火協会
市　岡　由　寿	裾野市防火協会
佐　野　　巧	富士市防火協会
前　田　幹　雄	静岡市防災協会
鈴　木　利　郎	島田・北榛原地区危険物安全協会
多々良　典　里	吉田榛原危険物安全協会
大　庭　弘　義	磐田市危険物安全協会
松　山　　豊	浜松市危険物安全協会
谷　　聖　志	湖西市危険物安全協会

（3）**（一社）静岡県危険物安全協会連合会　会長表彰**

（優良事業所）

日星石油株式会社沼津営業所	沼津市防火協会
沼津卸団地サービス株式会社	清水町防火協会
昭和油業株式会社ｴｸｽﾌﾟﾚｽ三島谷田SS	三島市防火協会
米山陸送株式会社	長泉町防火協会
鈴与株式会社袖師埠頭事業部	静岡市防災協会
株式会社山田油店	藤枝市危険物安全協会
大塚石油有限会社	島田･北榛原地区危険物安全協会
理研香料工業株式会社菊川工場	菊川市危険物安全協会
アース製薬株式会社掛川工場	掛川市危険物安全協会
静岡製機株式会社浅羽工場	袋井保安管理協会

（3）**（一社）静岡県危険物安全協会連合会　会長表彰**

（優良取扱者）

笹　本　　貢	下田地区危険物安全協会
嶋　田　充　孝	東伊豆町危険物安全協会
木　内　隆　之	伊東市危険物安全協会
山　田　　浩	熱海市防火協会
浅　賀　祐　子	西伊豆広域危険物安全協会
内　田　　保	田方防火協会
小　林　洋　一	沼津市防火協会
山　本　和　則	清水町防火協会
溝　田　重　治	三島市防火協会
成　澤　英　典	長泉町防火協会
福　島　　清	裾野市防火協会
藤　巻　伸　一	御殿場市小山町防火安全協会

（3）**（一社）静岡県危険物安全協会連合会　会長表彰**

（優良取扱者）

中　村　保　彦	富士市防火協会
鈴　木　明　子	富士宮市防火安全協会
興　津　正　彦	静岡市防災協会
高　澄　耕　次	焼津市危険物安全協会
油　井　希　芳	藤枝市危険物安全協会
小　澤　　達	島田・北榛原地区危険物安全協会
鈴　木　辰　巳	吉田榛原危険物安全協会
名　波　良　幸	牧之原市相良地区危険物安全協会
秋　野　惠　洋	御前崎市危険物安全協会
北　原　俊　明	菊川市危険物安全協会
平　野　佳　明	掛川市危険物安全協会
永　田　博　志	袋井保安管理協会
菊　池　　茂	磐田市危険物安全協会
原　田　龍　彦	浜松市危険物安全協会
清　水　正　二	湖西市危険物安全協会

（4）**（一社）静岡県危険物安全協会連合会　会長感謝状**

（連合会理事・監事）

松　本　大　明	下田地区危険物安全協会会長・前理事
古　屋　一　弥	東伊豆町危険物安全協会会長・前理事
井　原　宏　政	伊東市危険物安全協会会長・前理事
内　田　　進	熱海市防火協会会長・前理事
坪　井　哲　男	西伊豆広域危険物安全協会元会長・前理事
松　本　昭　二	田方防火協会会長・前理事
菊　地　広　明	清水町防火協会会長・前理事
波多野　秀　樹	三島市防火協会副会長・前理事
佐　野　倫　明	長泉町防火協会会長・前理事
近　藤　篤　司	裾野市防火協会前会長・前理事
那須野　孝　之	御殿場市小山町防火安全協会会長・前理事
山　本　　裕	富士宮市防火安全協会会長・前理事
桑　木　剛一郎	藤枝市危険物安全協会会長・前理事
田　中　和　明	島田・北榛原地区危険物安全協会前会長・前理事
加　藤　裕　之	吉田榛原危険物安全協会会長・前理事
宮　城　道　雄	御前崎市危険物安全協会会長・前理事
黒　田　晃　治	菊川市危険物安全協会会長・前理事
深　野　勝　則	掛川市危険物安全協会会長・前理事
伊　藤　文　夫	袋井保安管理協会会長・前理事

（4）**（一社）静岡県危険物安全協会連合会　会長感謝状**
（地区協会事務局前担当者）

八　代　明　彦	東伊豆町危険物安全協会
松　浦　　忠	熱海市防火協会
平　野　洸　一	西伊豆広域危険物安全協会
望　月　紀　男	清水町防火協会
関　　智　勝	長泉町防火協会
西　島　　昇	裾野市防火協会
鈴　木　信　治	富士宮市防火安全協会
安　本　隆　男	焼津市危険物安全協会

（4）**（一社）静岡県危険物安全協会連合会　会長感謝状**
（連合会主催保安講習会前講師）

池　谷　光　司	田方消防本部
久　土　　出	沼津市消防本部
入　江　保　彰	静岡市消防局
倉　嶋　志　郎	掛川市消防本部
黒　田　　尚	袋井市森町広域行政組合袋井消防本部
山　本　　諭	磐田市消防本部
田　力　洋　樹	浜松市消防局
鈴　木　大　右	浜松市消防局
八　木　　希	浜松市消防局

小川英雄静岡県危機管理官祝辞

会場の様子

静岡県知事　県危連会長表彰　受賞者

知事表彰授与

鈴木厚氏代表謝辞

大河原副会長大会宣言

記念講演

「日本人の忘れもの～フーテンの寅さんに学ぶ～」

講　師　　志村　史夫 氏

静岡理工科大学教授、ノースカロライナ州立大学併任教授
応用物理学会フェロー、日本文藝家協会会員

＜略歴＞

1948年、東京・駒込生まれ。名古屋工業大学大学院修士課程修了（無機材料工学）。名古屋大学工学博士（応用物理）。日本電気中央研究所、モンサント・セントルイス研究所、ノースカロライナ州立大学を経て、現職。日本とアメリカで長らく半導体結晶の研究に従事したが、現在は古代文明、自然哲学、基礎物理学、生物機能などに興味を拡げている。
半導体、物理学関係の専門書・参考書のほかに一般向けの著書多数。

＜一般向け主要著書＞

志村史夫著：こわくない物理学－物質・宇宙・生命－（新潮社、2002）
志村史夫著：いま『武士道』を読む（三笠書房知的生き方文庫、2003）
志村史夫著：「水」をかじる（ちくま新書、2004）
志村史夫著：「考える知恵」がつく本（三笠書房知的生き方文庫、2005）
志村史夫著：新書で入門 アインシュタイン丸かじり（新潮新書、2007）
志村史夫著：寅さんに学ぶ日本人の「生き方」（扶桑社、2008）
志村史夫著：漱石と寅彦－落椿の師弟－（牧野出版、2008）
志村史夫著：人間と科学・技術（牧野出版、2009）
志村史夫著：文系？理系？：人生を豊かにするヒント（ちくまプリマー新書、2009）
志村史夫著：環境問題基本のキホン：物質とエネルギー（ちくまプリマー新書、2009）
志村史夫著：ＩＴは人を幸せにしない：21世紀の幸福論（ワニPlus新書、2010）
志村史夫監修・翻訳：アインシュタイン 希望の言葉（ワニ・ブックス、2011）
志村史夫著：物理学者が教える筋道たてて考える技術（大和出版、2012）
志村史夫著：古代日本の超技術＜改訂新版＞（講談社ブルーバックス、2012）
志村史夫著：スマホ中毒症－「21世紀のアヘン」から身を守る21の方法－（講談社＋α新書、2013）

＜講演概要＞

いま、日本が物質的に極めて豊かな“衣食足りた”国であることは間違いない。

ところが、現代の日本人は、かつての、というよりほんの少し前までの日本人が確かに持っていた礼節を失ったばかりでなく、栄辱の何たるかも忘れている。

本当の「豊かさ」とは何か、本当の「幸せ」とは何か、“衣食足りた”日本人はどのように生きるべきか。世の中、銭金、勝ち負けだけじゃあ哀しい。

いま、「フーテンの寅さん」に学ぶことは少なくない。

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆

夏の一夜

焼津市危険物安全協会
会　長　　池　田　敦　郎

今年の異常気象に日本全国振り回された感がつよいですね。

ある地域ではゲリラ降雨による水害や土砂崩れ、ある地域では35度を超える連日の猛暑日に川も温くなり、ダムの貯水量も軒並み少なく、飲料水にも影響しそうですね。“どうなる日本！”と心配の種はつきませんが、所詮は自然との対決、悲しいかな敵うすべもありません。

そんな心配事をすかっとしてくれるのが、夏の風物詩、花火大会！静岡県下の花火大会の数が全国１位と聞いております。静岡県人は花火好きなんでしょうか？・・・

私の住む、ここ焼津でも海上花火大会が盛大に開催されました。夏の夜空に咲く大輪に目も耳も、そして心も奪われ楽しいひと時を過ごすことができ、無事終演となりました。

しかし、今年の各地での花火大会では何件かの事故で怪我をされたり、花火大会の現場での火災により尊い命が奪われたりと悲しい花火大会もありました。

ちょっとした不注意がもたらした大事故、私達も常日頃から細心の注意をはらって過ごさねばと再度心に誓う、夏のひと時でした。

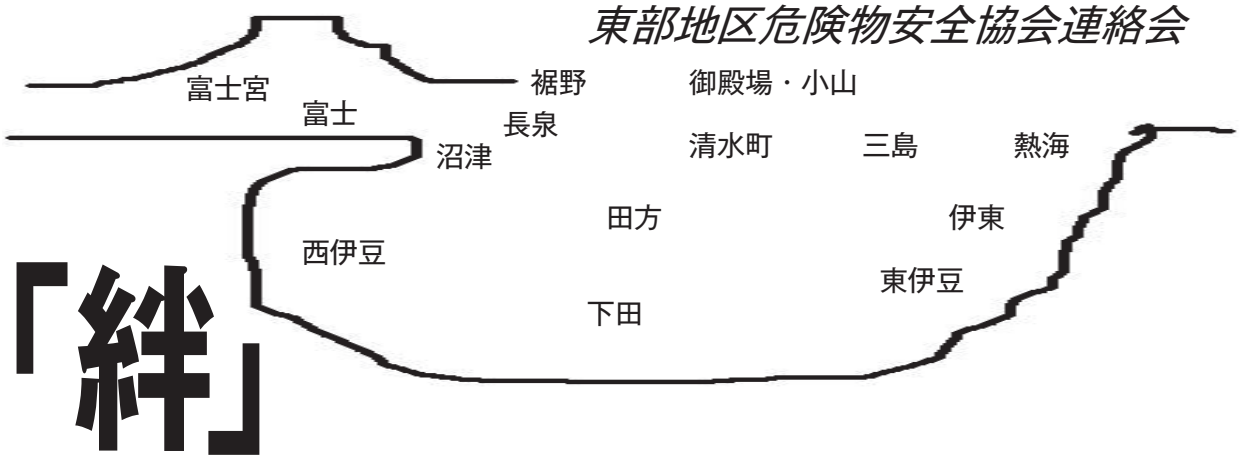
おいしい食卓をサポートします！

主要製品…粉末食品用香料、天然粉末色素、醗酵フレーバー
天然抽出香料、調理用オイル等

高砂フードプロダクツ株式会社

TAKASAGO FOOD PRODUCTS CO.,LTD
本社・工場　〒437-1115　静岡県袋井市湊４２０７番地の２
TEL ＜0538＞23-3411　　FAX＜0538＞23-6344
http;//www.takasagofood.co.jp

☆☆☆ 危険物安全協会連絡会だより ☆☆☆



平成２５年度東部地区危険物安全協会連絡会も、例年どおり役員及び幹事が人事異動に伴い入れ替わり、新メンバーでスタートしました。永年、当連絡会に貢献していただいた方々にはこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

さて、本年も着々と事業が進捗しており、第１回幹事会は、人事異動によりメンバー約半数が入れ替わった中での開催となり、まずはそれぞれ自己紹介をし、今後の協会事業を円滑に推進できるよう話し合いました。

また、通常総会では開催地である裾野市防火協会が幹事となり、各議題について審議しました。特に事業継続にあたり、来年度以降予算不足が生じることから、会費の増額が提案されましたが、各地区協会の会長から積極的な意見が出され承認されました。

懇親会では、生演奏のＢＧＭを聞きながら、和気あいあいと意見交換等を行う事ができました。

研修視察は、トヨタ自動車株式会社東富士研究所様のご厚意により、部外者の立ち入りが禁止されている場所を視察させていただきました。トヨタ自動車が初めてエアバッグ、自動シートベルト等を装着した車やヘリポート、自衛消防隊などの視察、テストコースの走行をしました。テストコースの走行は、世界各地の路面状況を再現したコース、高速走行をテストする傾斜のある周回コース等の走行体験ができました。マイクロバスでの走行でしたが、傾斜のあるコーナーはスピードものり迫力満点でした。

尚、裾野市防火協会ならびに事務局の皆様には、多大なるご尽力をいただいたことを紙面をお借りしてお礼申し上げます。

以下に本年度の事業を紹介します。

１　第１回幹事会

⑴日　程　　平成２５年６月７日（金）

⑵場　所　　沼津市　ブラッスリー銀座ライオン沼津店

⑶議　題

ア　平成２４年度事業報告及び決算報告

イ　平成２５年度事業計画及び収支予算

ウ　会費の改正

エ　危険物事務事業等に関する情報交換等

オ　静岡県危険物安全協会連合会等の表彰者の調整
カ　東部地区危険物安全協会連絡会総会の役割等の調整その他

２　正副会長会議
⑴日　程　　平成２５年６月１８日（火）
⑵場　所　　沼津市　沼津リバーサイドホテル
⑶議　題
ア　平成２４年度事業報告及び決算報告
イ　平成２５年度事業計画及び収支予算
ウ　会費の改正
エ　東部地区危険物安全協会連絡会総会の調整

３　第３５回通常総会
⑴日　程　　平成２５年６月２１日（金）
⑵場　所　　御殿場市
　　御殿場高原ホテル
⑶議　題
ア　平成２４年度事業報告、
　　平成２４年度決算報告
イ　平成２５年度事業計画、
　　平成２５年度収支予算
ウ　会費の改正

第３５回通常総会

東危連会長挨拶
沼津市防火協会　中島博康会長

開催地会長挨拶
裾野市防火協会　柴田泰彦会長

4　視察研修

⑴日　程　　平成２５年６月２１日（金）

⑵場　所　　裾野市　トヨタ自動車株式会社　東富士研究所

⑶研　修

ア　トヨタ自動車株式会社東富士研究所防災体制

イ　テストコース走行

視察研修
裾野市　トヨタ自動車株式会社東富士研究所

5　幹事視察研修会

⑴日　程　　平成２５年１０月４日（金）

⑵場　所　　東京都　東京ビックサイト東京国際消防防災展２０１３

6　第２回幹事会

⑴日　程　　平成２６年３月７日（金）

⑵場　所　　沼津市

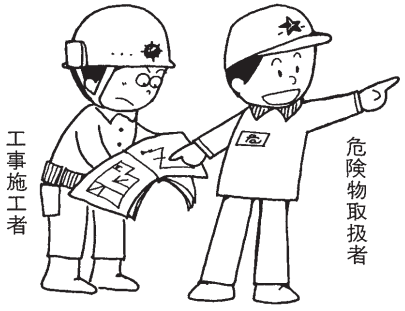
⑶議　題

ア　平成２６年度事業計画及び収支予算

イ　役員改選

ウ　危険物事務事業等に関する情報交換等

危険物取扱者の必要な指示



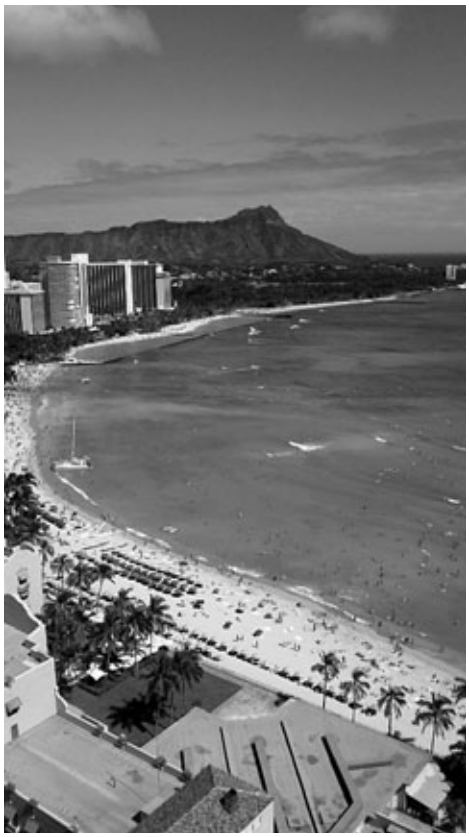
☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆

ハワイ随想

裾野市防火協会
会　長　　柴　田　泰　彦

「無趣味」が趣味の私だが、旅行は好きである。会社が自動車製造業でゴールデンウィーク、お盆、年末年始に連休があり、この前のお盆の９連休で数年ぶりにハワイ（オアフ島）に行ってきた。この会報の読者の方々でもハワイに行かれた方は多いと思う。ハワイと聞いて、まず連想するのはサーフィンだが、オアフ島のノースショアに有名なビッグウェーブがやってくるのは冬で、この季節は雨が多く、観光客よりも地元の人々の方が多く見物に訪れるという。なぜ暑い夏にわざわざ南のハワイに行くのかというと、冬に比べて天候が安定していることと、何より常に風が吹いていて湿気が少なく、日本の夏よりはるかに過ごしやすいからである。

前回行った時も感じたことだが、ハワイで働いている人たちは皆楽しそうに働いているように見える。必ずしも全員がそうとは限らないかもしれないが、国民性の違いがあるとはいえ、見習わなければならない点だと思った。日本では、まず仕事があってその上で人間関係が成り立っているが、特にハワイでは人間関係があって仕事が成り立っているという感じがする。その人間関係を作るのに大切なのがコミュニケーションだと思う。レストランなどでも、向こうの人たちはアルコールがなくても、よくもそれだけ話題があるなと思うくらいずっとしゃべり続けている。コミュニケーションを意識しなくてもコミュニケーションができることがうらやましく思える。



日本には日本のビジネススタイルがあるが、たまにこうやって海外に行くと、それが決してワールドスタンダードではないことを痛感させられる。今年から裾野市防火協会の会長を仰せつかり、当会とのお付き合いをさせていただくことになった。着任早々６月の東部地区総会の事務局となり、会員皆様のご協力のおかげで何とか無事に乗り切ることが出来た。この場をお借りして改めてお世話になった皆様に御礼を申し上げたい。当会のような「協会」の運営というのは、会社とは違い、普段は別々の会社で働いている**会**員相互のまさに**協**力のもとに成り立つものと思う。そのために重要なのはお互いのコミュニケーションだと思う。そのことに改めて気付かされた今回の旅行であった。

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆

単身赴任

清水町防火協会
会　長　　菊　地　広　明

近頃は、単身赴任をしている方々が多くなったように感じます。

小生も静岡県に来て、約３年が経過しようとしています。もちろん、単身赴任です。

はじめは、「家族と会えないのは、寂しいけれど、久しぶりに独身気分で気楽でいいなあ」と思っていましたが、それもたったの１週間だけでした。

単身赴任は、掃除・洗濯・食事等々、仕事以外に主婦業をしている毎日です。

特に、食事は健康に直結しているので、自分で調理するようにしています。主婦業って、本当に大変です。

休みの日は、一週間分の掃除と洗濯をし、午後からは調理の時間になります。たまには、車で伊豆や御殿場、富士山周辺等々をドライブし、また、伊豆の温泉地で温泉につかりながらのんびりとしています。静岡県、特に東部地区は食べ物に、温泉に、景色にと本当に素晴らしいところだと思います。同じ場所でも四季折々の景色と料理があり、これからは、妻が静岡にきたときは、妻孝行のため、料理･温泉･景色を一緒に楽しもうと思っています。

まっすぐに、
紙と地球の明日へ。

紙の可能性を追求していくこと。
時代に先駆けたテクノロジーを開発していくこと。
地球環境を考えた紙づくりをすすめていくこと。
自然を守り伝えていくこと。
私たち特種東海製紙は、これからも、
紙と地球の未来を見つめていきます。

TOKUSHU TOKAI PAPER 特種東海製紙
http://www.tt-paper.co.jp/ 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-4-1 TEL.03-3273-8281

☆☆☆ 危険物安全協会連絡会だより ☆☆☆

静岡市　焼津市　藤枝市

中部地区危険物安全協会連絡会

島田・北榛原地区　吉田榛原　牧之原市相良地区

2020年東京オリンピックの開催が決定しました。今年から７年後、56年の時を隔て世界のスポーツの祭典が再び東京で行われます。

７年後、日本はどんな社会になっているのでしょうか。

危険物施設は減少傾向にありますが７年後は増えている？それとも減っている？自動車は確実に燃費が良くなりガソリンの消費量は減っていきます。

その代わりに電気自動車、燃料電池自動車が増え、急速充電設備と水素スタンドが普及する。いずれも危険物を使用する設備です。

現在の常識からは考えられないエネルギーが開発されるまでは、やはり危険物は相変わらず社会に必要不可欠なものであると言えます。

今後も無事故を目指して協調を図って行きます。

“焦らず、慌てず、諦めず”

【平成２４年度の主な事業】

２４年度総会

・平成２４年６月２９日（金）ホテルアンビア松風閣
・参加人員　　１９名
・来賓　　県消防試験センター支部長　稲津　成孝氏
　　県危連事務局長　　日吉　公男氏

駿河湾と富士を一望できる会議室にて、中部地区連絡会の総会が行われ、新会長に島田・北榛原地区の仲田会長が満場一致で選任されました。

司会を務める仲田新会長

中部地区の会長、副会長、事務局の方々

幹事会　各地区協の事務局員が参加し、協会事業の円滑な推進等を模索し、また、危険物規制上の意見交換や情報共有を積極的に行うことにより、危険物施設の災害、違反防止を図っています。

・第１回幹事会　　平成２４年４月１３日（金）　焼津市消防本部
・第２回幹事会　　平成２４年１１月２日（金）　島田市消防本部

幹事会風景

防災資機材の配布

油吸着マット等の資機材を各地区協に配布し、漏洩等による災害を最小限度に留めることを目的に実施しています。

・９月中旬に２ケースずつ配布

速報　新会員

平成25年度より牧之原市相良地区危険物安全協会が新会員となりました。

設立総会風景

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆

4/30　安城市

『目指せ大阪城２０１３！』

島田・北榛原地区危険物安全協会
会　長　　仲　田　勝　利

昔（江戸時代）の人は凄いと思う。お伊勢参りで江戸日本橋から伊勢神宮までの道のりを数十日掛けて、情報も、天気も分からないまま自分の脚で歩き続けた。今の世の中、飛行機、新幹線、電車、自動車、あらゆる交通機関が発達し、あっという間に移動でき、旅行、ビジネスが事をなす。インターネット、携帯電話等の情報網も発達し、オンタイムで世界中の情報が手に入る便利な世の中。

そんな時代に逆行して、自分の脚で金谷から大阪までを走り切ろうと企画した。江戸時代の人の様に自分の脚のみで地べたを踏みしめながら。一昨年は同じ挑戦をして三重県でリタイヤをした。２０１１年ゴールデンウィーク。自宅の金谷から大阪城まで、６日で３３０ｋｍを走破する無謀な計画。三重県亀山（４日目）でリタイヤ。３日目に走った歩数は、１０万歩。今でもこの歩数が自己最高歩数。その日は、岡崎から四日市まで７８ｋｍの工程だった。宿には夜中に着き、１６時間掛かった。次の日はもう走る体力は無かった。４日目、それでも大阪に向け２０ｋｍ歩いてリタイヤとなった。（何が楽しくて走るんだろう？体が疲れるだけなのに。）自分にも問いかける時もあった。

昨年は、仕事の関係で挑戦出来ず。

今年は「目指せ大阪城！２０１３」と銘打って、自分を叱咤激励し、リベンジを誓った。

一昨年の悔しさをバネに！３月３日の駿府マラソン（ハーフマラソン）完走。４月２０日　富士五湖ウルトラマラソン（７２ｋｍ）完走。このレースを熟しながら順調に？調整を進めてきた。

今年もコース設定は同じで、ゴールデンウィークを使い７日間のプラン。

一日目（4/28）　湖西まで　　６５ｋｍ
二日目（4/29）　岡崎まで　　５０ｋｍ
三日目（4/30）　名古屋まで　４０ｋｍ
四日目（5/01）　四日市まで　４０ｋｍ
五日目（5/02）　伊賀上野まで６０ｋｍ
六日目（5/03）　奈良まで　　４０ｋｍ
七日目（5/04）　大阪城まで　３５ｋｍ

5/3　法隆寺

何故、そこまで無理をしてまで走るの？と問われれば、
ゴールした時の達成感が堪らない！それまでの自分の努力が一気に報われた気がする。決して早いわけではない。途中何度も、走りきれず歩く、立ち止まり休む。でもその先に、ゴールがあるから、１歩ずつ確実に近づいているから。
と答えるだろうし、何より、５０歳の誕生日の前に、何かを達成したかった。自分にしか出来ないようなことを成し遂げたかった。

２年越しの思いが通じ、大阪城に無事にゴールできた。それまでの日々のトレーニングと会社や家族のアシストがあったからこそ、目標が達成できたと思う。

諦めないで、続けること、そうすれば、ゴールは見えてくる。

凄いこと、無謀なことだが、やれば出来ることを実証した。

5/4　大阪城

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆

旅の思い出

静岡県危険物安全協会広報委員
静岡市防災協会副会長
竹　下　幸　嗣

６月、天候不順で局地的に大雨の様子が報道されている時期でしたが、社員旅行で北海道の函館から昭和新山、洞爺湖、小樽と道南の観光をしてきました。

定番の観光ルートで、行かれた方も多いと思いますが、旅行の間は晴天とはなりませんでしたが、雨にも降られず日頃の暑さから開放され、五稜郭タワーでは歴史の勉強をし、夜は函館山からの夜景を眺め、海の幸を堪能しました。

翌日は小樽のにしん御殿（旧青山邸）を見学。鰊漁で巨万の富を築き上げた青山家の三代目が、山形県酒田の本間御殿に魅せられ大正６年から６年半かけて金に糸目を付けずに建てられた豪邸で、平成になって国の登録有形文化財に指定されたとの事でした。以前海辺の近くで当時の面影を残している鰊の館を見学したことがありましたが、改めて当時の繁栄ぶり、勢いというものを感じさせられました。

今回函館からは、下北半島のどんよりと霞がかかったような景色しか見ることが出来ませんでしたが、昨年は反対に本州最北端大間岬より函館を見ていました。そのときも曇り空で同じような景観でしたのでちょっと残念という処です。

昨年は〈青森ねぶた祭りと下北半島の旅〉と北の旅が続いていますが、印象に残っているのは、日本三大霊場の一つといわれる恐山です。霊界と俗界との境、三途の川にかかる橋を歩いて渡り、境内に入ると火山ガスによる硫黄の臭い、カラスが数羽飛び交い、供養塔、地蔵尊、亡き人のあの世での幸せを祈って石を積み上げ手を合わせる参拝者、岩肌の一帯は地獄に、宇曾利湖を取り巻く白砂の浜は、極楽になぞらえられているようですが本当に黄泉の世界に入ったような異様な雰囲気に包まれましたが、夏の恐山大祭には多くの参詣者でにぎわうようです。

旅はお祭りや季節感を味わえるシーズンを見計らって行く事が出来れば、その雰囲気に浸り、その地域や内容がより理解できより楽しくなると思いますが、思うように行かないのが実情ではないでしょうか。時間的に余裕が出来たらボケ防止のためにも旅行を続けたいと思っています。

☆☆☆ 危険物安全協会連絡会だより ☆☆☆

御前崎　菊川　掛川　袋井

西風のたより

磐田　浜松　湖西

西部地区危険物安全（保安管理）協会連絡会

当連絡会管内においては、昨年度危険物に起因する大きな火災等の事故は発生しませんでした。しかし、全国では死傷者を伴う危険物施設の爆発事故などの重大な事故が発生しており、危険物を扱う者にとりましては、決して対岸の火事ではなく、常日頃から危険物施設における安全管理に努め、防火体制のさらなる充実を図る事が必要です。

さて、東日本大震災から２年が経過し、復興に向けて動き始めていますが、忘れてならないことは、日本は４つのプレート上にあり、地震大国と言われるほど地震が多発していることです。今年の６月には第４次地震被害想定が県から示され、被害想定もレベル１とレベル２に分けられました。沿岸地域に位置する事業所については、人命の安全を第一に対策を講じなければなりません。

また、この他の自然災害では、地球温暖化の影響などで、局地的な大雨や落雷、さらには４月の浜松市天竜区春野町で発生した地すべりなど、怖さを改めて感じています。

自然災害の発生は止めることはできませんが、被害を最小限に留めることはできます。それには、私たち連絡会の組織を活用し、会員相互が情報交換を密にすることにより、それぞれの事業所において、策定している防災対策の参考とすることなどにより、来るべき大地震に備えることで、被害の軽減ができるのではないでしょうか。

当７地区協会は、相互に連絡協調を図り、より実りある連絡会としていく所存です。

それでは、当連絡会の平成２４年度に実施した事業について御紹介します。

１　総会・会議関係

（１）総　会　　平成２４年６月２２日（金）　於：オークラアクトシティホテル浜松で開催され、平成２３年度事業報告・平成２４年度事業計画等について承認されました。

総会で挨拶する鈴木裕司会長

（２）幹事会議

次のとおり３回の幹事会により事業計画の円滑な推進や地区協会の発展を目的とした情報交換等を行いました。

○第１回幹事会　　平成２４年５月２５日（金）　　於：浜松市消防局
○第２回幹事会　　平成２４年８月２４日（金）　　於：浜松市消防局
○第３回幹事会　　平成２５年２月　８日（金）　　於：浜松市消防局

（３）連絡会議　　平成２４年１２月７日（金）　於：オークラアクトシティホテル浜松

浜松市消防航空隊・消防ヘリポートにて、会員の知識向上のため、施設及び消防ヘリコプター「はまかぜ」について航空隊隊員から出動体制等の説明を受け、研修を実施しました。

研修後、オークラアクトシティホテルで会議を開催、平成２４年度の中間事業報告及び平成２５年度の事業方針等について審議し、会議終了後、懇親会が開催され和やかな雰囲気の中、情報交換を行いました。

消防ヘリポートにて

２　研修会関係

（１）会員・幹事研修会　　平成２４年９月２０日（木）　於：浜松市総合産業展示館北館

富士常葉大学環境防災学部准教授　小村隆史氏による「南海トラフの巨大地震をどう受けとめるべきか」と題した講演を聴講しました。

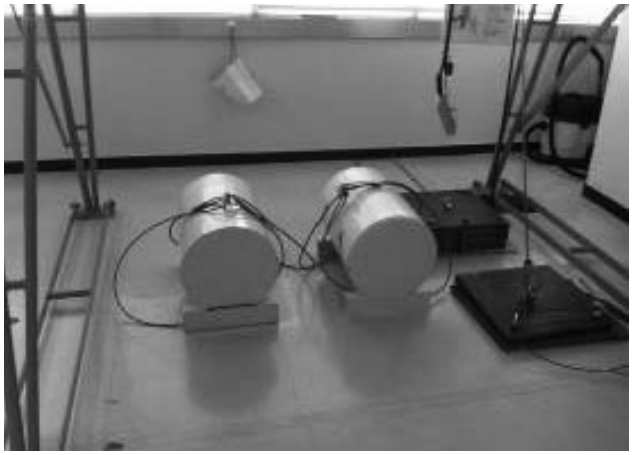
防災講演会「小村隆史　氏」

（２）幹事研修会

平成２４年８月２４日（金）　　於：本田技研工業㈱浜松製作所

本田技研工業㈱浜松製作所の危険予知体験施設を見学し、実際に装置を用いた危険体感等の研修を実施しました。

危険予知の研修



吊り上げ重心ズレ体験装置

（３）会員・幹事視察研修会

平成２５年１月２５日（金）　　於：神奈川県小田原市

神奈川県小田原市のライオン㈱小田原工場において、当施設の防災体制や環境対策への取り組みなどを見学しました。

ライオン㈱小田原工場にて

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆

浜岡砂丘

御前崎市危険物安全協会
会　長　　宮　城　道　雄

静岡県西部の遠州灘海岸には、天竜川から流出された土砂が沿岸潮流に乗って、岸辺に打ち上げられ、強い西風によって吹き寄せられた白砂は、太平洋側最大級の砂丘地帯として発達しました。

自然の力で出来た砂丘は時には冬の乾燥した西の強い季節風により、飛砂となって一夜にして、その姿を目まぐるしく変化させる移動性砂丘でした。江戸時代より続く、内陸の新野池干拓と砂丘開拓は延々として進まず、農民達を苦しませました。

明治中期になり斜めに風を導くことが有利であることを学んだ池新田の農民は、各家義務として、砂丘の固定作業に取り組みました。卓越風向に対して45度の傾きで、北西から南東へ直線状に粗朶木を立て堆砂垣として４～５m間隔の方眼状に仕立巾100m長さは１㎞程もあるものでした。飛砂をともなう強い西風は、この堆砂垣に当たって力を弱め砂はその場に堆積され、５年位続けると10mの高さに成長しました。

仕上げには竹で編んだ高さ１m程の静砂垣（一部写真に見られます）により砂丘は固定されるのです。こうして見事な浜岡砂丘（人工斜砂丘）として姿をあらわします。一面に続く、砂丘の起伏とその風紋はまさに砂の芸術です。

子どもだった頃、海岸の波打ち際まで行くには三つもの砂丘を超えたものですが、今は浸食されて一つしか残っておりません。原因は天竜川にダムが出来て土砂の流出がなくなったからです。

明治以来続いております砂防工事は規模こそ小さくなりましたが、毎年冬の空っ風が吹く前には必ず実施されております。私も手伝ったことがありますが、すべて手作業で行います。飛砂に苦しんだ農民の知恵は、100年以上たっても正確に受け継がれております。

浜岡砂丘は、先代が残してくれた立派な遺産であります。

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆

世界遺産への登山

湖西市危険物安全協会
会　長　　村　田　匡　人

富士山の「世界遺産」登録に盛り上がる日本ですが、自分も約15年前にトライをしました。
結果は散々たるもので、途中で断念となってしまいました。
当時の状況は、５合目まで車で行き登山をスタート。はじめは順調に登山をしていたのですが、途中で一緒にいた人に、「おまえ唇が紫色になっている！」と言われ、しばらくしたら気分が悪くなり高山病のなりかけになり登山を断念しました。
言われる前まではすごい勢いで登っていて全然自覚症状はなかったのですが。
（上記写真はまだ登山する意気込み満々状態の時の写真です）
高山病をインターネットで調べてみると、「吸入酸素分圧の低下による低酸素血症が原因。重症化すると脳浮腫や肺水腫を引き起こすこともある」と言う事でした。
予防としては、
① 高所順応を行う
② ゆっくり登る
③ 常に深呼吸する
④ 十分に水分を補充する
⑤ 体を締め付けない
と書いてありました。今回の自分の主原因は「②のゆっくり登る」を怠ったことが主原因かと思います。
最近では80歳でエベレスト登頂に成功した三浦雄一郎さんの体を調査する番組をやっていました。やはり日頃の訓練の結果、今回の偉業を達成できたと結論付けていました。
ニュースを観ていると、本当に沢山の人が富士山登山にトライしています。海外から来る人も沢山いるようです。皆さんも今回のブームに軽率な気持ちでチャレンジせず、準備をしっかりし健康な体調で登山を楽しんでください。
自分については再チャレンジの判断材料として、近くの山に登ってみようかなと最近思っています。

☆☆☆ 地区協会の広場 ☆☆☆

裾野市防火協会

裾野市防火協会は、昭和48年4月に発足した裾野市危険物安全協会と昭和60年4月に設立した旧裾野市防火協会が平成元年4月に運営の効率化を図るため統合し現在に至ります。

現在の会員事業所数は224事業所で、防火防災に関する事業や救急法講習など会員事業所に役立つ事業を行っています。

《健康文化都市すその》

裾野市は静岡県東部、富士山のふもとに広がり、東には箱根外輪山、西には愛鷹連山と豊かな自然に囲まれた工業のまちです。

人口は54,045人（平成25年1月１日現在)、面積138.17平方キロメートル。気候は温暖で、交通の便も良く、豊かな自然と産業が調和したまちです。

また、裾野市は『健康文化都市』を宣言し、誰もが健康で、人と自然のふれあいを大切にして、豊かな裾野の文化を作り続けることを目指しています。

《裾野市観光スポット紹介》

「パノラマロード」

世界遺産に登録された富士山の眺望が抜群。

周辺には、「梅の里公園」、「ヘルシーパーク裾野」、「裾野市運動公園」などが立地しています。5月には「富士裾野高原マラソン」が開催され富士山をバックに爽快に走ることができます。

「ヘルシーパーク裾野」

ー 雄大な富士山が正面に展望できる
露天風呂で身も心もリフレッシュ ー

ヘルシーパーク裾野の温泉は全国でも数少ない高張性温泉です。

美人の湯といわれるようにお肌がツルツルになり、うちみ・関節痛に非常に効果の高い自家源泉100％の掛け流し温泉です。

また、各種温水プール（歩行浴・体力づくり中心）もあり健康づくりにも役立ちます

「十里木高原地区」

「富士サファリパーク」、「ぐりんぱ（遊園地）」、「イエティ（スキー場）」「バンディ（ゴルフ場）」「市営十里木キャンプ場」などのアミューズメントスポットがあります。

また、富士山登山道富士宮口のシャトルバス発着場となる「水ヶ塚公園」は一段と大きな富士山を眺めることのできる絶景スポットです。秋の紅葉も素晴らしいです。

《裾野市防火協会事業のご紹介》

「消火技術競技大会」

会員事業所を対象として、「消火技術競技大会」を毎年開催しています。

また、最近は近隣への配慮から事業所内で消防訓練を行うのに苦慮している事業所が多いことから、年2回「消防訓練会」を開催し消防訓練を行う機会を提供しています。

「危険物施設定期点検記録簿の確認審査会」

危険物施設の維持管理、事故防止のため、会員事業所（危険物施設）が危険物施設定期点検記録簿を持ち寄り、防火協会の危険物対策委員に記載事項の確認をしてもらいます。危険物施設が良好に保たれているか確認を受けるとともに、保安管理に関するアドバイスを受けます。

「火災予防週間中の事業」

春季火災予防運動週間には、防火協会会員事業所の従業員に「一日消防署長」をお願いし、火災予防ＰＲ活動を実施しています。

また、市防火協会独自の防火標語を公募し啓発活動に使用しています。

☆☆☆ 地区協会の広場 ☆☆☆

富士市防火協会

≪富士市の紹介≫

平成２５年６月２２日（土曜日）、我が街のシンボル富士山が、カンボジアのプノンペンで開催された第３７回ユネスコ世界遺産委員会において、世界文化遺産に登録されました。

世界文化遺産となった富士山頂から御来光を！という方が後を絶たないようですが、その昔は、田子の浦で身を清めてから山頂を目指す行者が沢山いたそうです。

その田子の浦は、「田児之浦従　打出而見者　真白衣　不尽能高嶺爾　雪波零家留」と万葉の歌人山部宿弥赤人にうたわれ、鎌倉時代に、源頼朝によって開拓された土地の一つとして、交通の要衝として戦国大名の保護を受けながら発展しました。

江戸時代には、東海道五十三次の宿場町「吉原宿」として、景勝「左富士」とともに旅人の心を癒しました。

明治維新とともに地域の経済及び生活条件も大きく変わり、海路から陸路への転換によって、鉄道を持たない吉原宿は衰退のきざしを見せましたが、先覚者たちが、植樹、茶業、養蚕あるいは「駿河半紙」の伝統を活かして製紙業を起こしました。中でも、製紙業は、富士山麓から湧き出る豊富な地下水と森林資源によって発展し、全国一の「紙の都」といわれるまでに成長しました。

都市形態も、昭和４年以降、数回にわたる近接町村との合併を重ねました。昭和４１年１１月１日には、吉原市、富士市、鷹岡町の岳南二市一町が大同団結し、人口１６万５千人、世帯数３万８千世帯の新生「富士市」が誕生、更に平成２０年１１月１日には富士川町との合併を成し遂げ、現在は人口約２６万人、総事業所数１万２千超、うち製造業は１千４百を超え、製造品出荷額等は１兆４千億円を超える県下有数の工業都市として発展を続けています。

≪協会の紹介≫

当協会は、昭和４０年６月、６３の事業所が強い防火思想に則り、自発的な意欲に燃えて、事業所における防火管理の向上、普及を図りもって自主的な災害防止を促進するとともに、消防行政官署と密接な連携を保ち消防行政の円滑な運営に寄与することを目的に組織され、現在は会員数４０７事業所、そのうち危険物を取扱う事業所２２７事業所で構成されています。

≪通常総会≫

通算４８回目の通常総会が、平成２５年５月２４日（金曜日）にホテルグランド富士で開催されました。

≪定例表彰≫

通常総会の席上において、優良防火管理事業所、優良防火管理者、優良防火管理事務従事者、優良危険物保安功労者の会長表彰が執り行われました。

≪防火ポスターコンクール≫

火災予防運動の一つとして、防火意識の高揚を図ることを目的として、市内小中学校の児童・生徒から防火ポスターを募集しています。

小学校の部・中学校の部それぞれから市長賞を選出し、小学校の部市長賞を秋季火災予防運動時に、中学校の部市長賞を春季火災予防運動時に、それぞれ２,２００枚印刷し、市内各所に掲出し広く火災予防のＰＲに活用しています。

小学校の部市長賞

中学校の部市長賞

≪一日消防長≫

富士市をＰＲする大使のかぐや姫クイーンと富士の茶娘クイーンのお２人を「一日消防長」に任命して、消防業務の視察及び体験を通じて、消防行政の一端を体験していただき、大型量販店やラジオ放送で火災予防ＰＲを行なっていただきました。

☆☆☆ 地区協会の広場 ☆☆☆

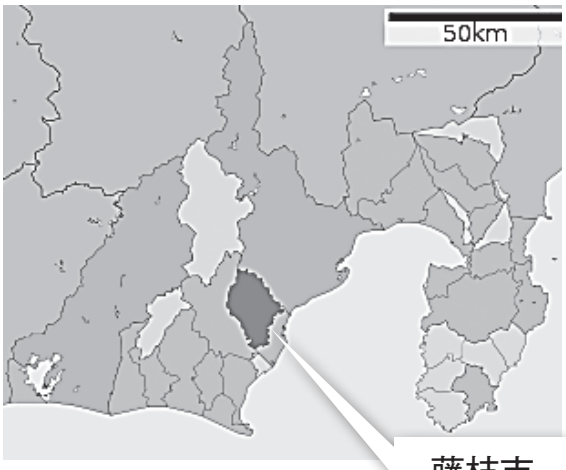
藤枝市危険物安全協会

藤枝市危険物安全協会は、県内６番目の人口14万６千人余りを有する県中部の中核都市である藤枝市内で危険物を貯蔵又は取り扱っている事業所並びに本協会の趣旨及び活動に賛同する事業所の方々で構成されており、危険物の取扱い及び管理の向上を図り、これに起因する災害の防止に努めるとともに、会員相互の親睦を深め、産業の健全な振興発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的としています。

現在は143事業所が加入し、会長１人、副会長３人を含む理事29人及び監事２人で構成される役員を中心に活動しています。

蓮華寺池公園

南北に長い地形を持つ藤枝市は花と緑、水が豊かな、とても心地よい土地です。江戸時代には岡部・藤枝は、東海道21･22番目の宿場町として栄えました。



総合運動公園モニュメント

藤枝市は、「サッカーのまち藤枝」として全国に知られ、サッカー王国静岡の中でも伝統を古くから築き上げています。 1964年にはサッカースポーツ少年団が全国に先駆けて結成､1970年には、スポーツ少年団が全国大会で優勝するなど、藤枝の名は日本のサッカー界にその名を轟かせるようになりました。

今も、藤枝市内では、多くの少年サッカーチームが活動を続け、中学校や高校の授業や部活動でもサッカーが盛んに行われるなど、老若男女問わずサッカーを愛する気風が貫かれています。

蓮華寺池公園

藤枝市のほぼ中央に位置し、「花・水・鳥」がテーマの公園で周囲約1.5ｋｍの池を中心に、ボート遊びや、アスレチック、すべり台などの遊具も充実。日本庭園、屋外音楽堂などの施設もあり年齢を問わず楽しめます。

春になると池の周囲、園路沿いの桜や藤が見ごろとなり、毎年藤の開花時期にあわせて、ふじまつりが開催されます。夏には、名前の由来でもある蓮の花が池に浮かび、訪れる人の目を楽しませてくれ、季節を通じて多くの市民が集う憩いの場所です。

瀬戸川の桜並木

瀬戸川勝草橋付近両岸とその西岸の小さな山、金比羅山は合わせて約850本の桜が咲き誇る桜の名所となっており、春には、桜をメインにイベントが行われます。約2.5ｋｍの桜トンネルが夜になると幻想的にライトアップされます。

金比羅山の麓では蛍の繁殖が行われており、時期になると蛍が飛び交います。

グラススキー場

大久保グラススキー場は、四季を通じていつでも利用できる緑のフィールドです。ゲレンデは、初心者から上級者まで十分楽しめるように３つのコースがあります。グラススキーのほか、マウンテンボード、グラスクーターやソリ遊びも楽しめます。 初心者から上級者まで、家族そろって遊べます。緑のゲレンデを滑れば爽快な開放感が広がります。 近くには、静かで自然豊かな管理が行き届いた年間を通じて利用できる都市近郊型のファミリーキャンプ場もあります。（大久保キャンプ場）

旅籠柏屋

旅籠柏屋は、東海道岡部宿を代表する大旅籠のひとつです。江戸時代に建てられた「柏屋」は当時の様子がわかる、貴重な歴史資料館です。天保5年の大火で焼失し、天保７年（1836）年に現在の建物が建てられ、平成10年に国の登録文化財に認定されました。平成12年には東海道や旅、岡部宿を楽しく学べる歴史資料館として蘇り、現在の施設となりました。

藤枝市指定有形文化財の山内家雛人形「御殿飾り」と、地元の好光人形作「等身大のおひなさま」を柏屋主屋内に展示。「御殿飾り」は安政３年の物。等身大の雛人形は、二代目好光が昭和40年より４年の歳月を費やして製作された。毎年「柏屋」に展示される、大変貴重なものです。

玉露の里

藤枝市の東に位置する岡部は東海道五十三次の21番目の宿場で、ここを流れる朝比奈川沿岸に広がる山間の傾斜地が、京都の宇治、福岡の八女と並ぶまろやかな味「玉露」の三大産地のひとつです。玉露の里茶室「瓢月亭」では最高級の玉露や抹茶を季節の和菓子とともに落ち着いた雰囲気の中で味わえます。

朝比奈大龍勢

朝比奈大龍勢は藤枝市の北東部に流れる朝比奈川上流の地域に古くから伝わる伝統行事です。山間の美しい秋空に向かって白い煙を上げながら一気に上昇していく勇壮な花火の姿は、まさに「龍」が勢いよく舞う様です。

☆☆☆ 地区協会の広場 ☆☆☆

磐田市危険物安全協会

当協会は、危険物災害の防止をめざし、「産業の健在な発展は防火から」を合言葉に昭和４０年９月に発足したものであります。会員は、磐田市にある事業所で、協会の趣旨に賛同された皆様に入会いただいております。現在、２１４事業所で構成されています。県、市、消防機関に対しましても率直に意見や希望を伝え、官民一体の安全対策を検討するまでに発展いたしました。

平成２１年度に磐田消防常備化５０周年を記念して、消防イメージキャラクターが誕生しました。磐田市の昆虫に指定されている絶滅危惧種『ベッコウトンボ』をモチーフに住民の暮らしの安心と安全を力強く守る凛とした消防の姿勢をイメージしてデザインされたものです。

べっくん

着ぐるみ『べっくん』を当協会より寄贈し、幼稚園児などの消防署見学や消防広報イベントなどで活用いただいています。

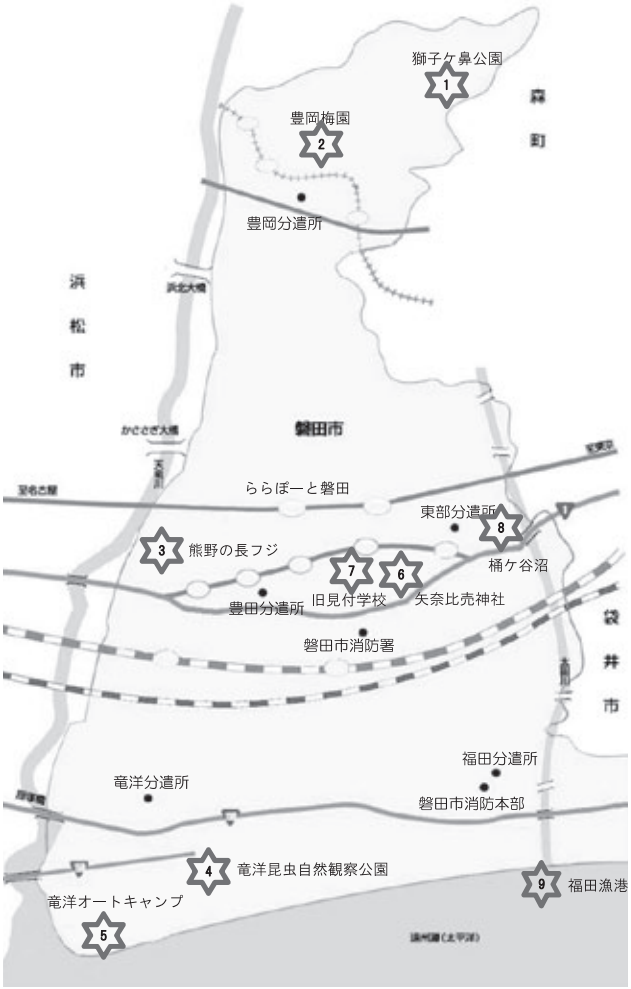
主な事業の紹介

４月	理事・監事会
５月	総会
５／１０月	危険物取扱者試験事前講習会
９月	理事・監事会、保安委員会
１１月	会員視察研修会
１月	保安管理研修会

磐田市の紹介

磐田市は、日本のほぼ中央静岡県西部の天竜川東岸に広がる地域で遠州灘に面し、四季折々の豊かな自然に恵まれています。

奈良時代には遠江国の国分寺と国府が置かれ、９００基以上の古墳が確認されるなど歴史が語りつがれています。江戸時代には東海道五十三次「見付宿」として繁栄するなど古くから歴史や文化の積み重ねられたまちです。



名前由来になった「獅子の顔」に見える岩

1 ＜獅子ケ鼻公園＞

・遊歩道やアスレチックが整備され、春は桜･つつじ、初夏は新緑の中で森林浴･バードウォッチング、秋は紅葉など四季折々の自然を満喫できます
・約５kmのコースには「初心者/ベテラン」の２つのトレッキングコースがあります

2 ＜豊岡梅園＞

・敷地内には約4,000本の梅が植えられ、2月中旬～3月上旬には色とりどりの梅が咲きます

3 ＜熊野（ゆや）の長フジ＞

・行興寺にある国指定の天然記念物「熊野（ゆや）の長フジ」は、花房が１ｍ以上にもなり見ごたえ十分です
・藤棚面積約1,600㎡を誇り藤の名所となっています
・見頃は４月下旬～５月上旬です

4 ＜竜洋昆虫自然観察公園＞

・子供たちが大好きなカブトムシやクワガタなど、様々な昆虫や自然と触れ合うことができます
・昆虫館では世界中の昆虫の標本が展示されています
・イベントも季節を通して開催中です

5 ＜竜洋オートキャンプ場＞

・ＪＡＣ認定５つ星のオートキャンプ場で設備の整ったキャンプサイトやコテージがあるのでゆっくり1泊するのもおすすめです

＜つつじ公園＞
　見付天神北側の森林に広がり、約３０種3,500株のつつじが咲き誇ります
　※見頃・・・４月中旬

6 ＜矢奈比売（やなひめ）神社（見付天神）＞

・「見付のお天神様」と親しまれ、東海随一の学問神様として崇敬されています。県内外からもたくさんの参拝客が訪れます
・参道には怪物退治の伝説で有名な「しっぺい太郎」の銅像があり、秋には国の重要無形民俗文化財『見付天神裸まつり』が盛大におこなわれます

しっぺい太郎

7 ＜旧見付学校＞

・明治８年に建てられた現存する日本最古の木造擬洋風小学校校舎で、国の史跡に指定されています
・５階建ての館内は資料の展示や当時の授業風景を再現していてノスタルジックな雰囲気が味わえます

8 ＜桶ケ谷沼（おけがやぬま）＞

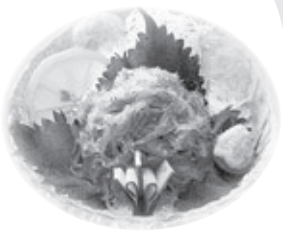
・日本有数のとんぼの生息地で約７０種類のトンボ生育が確認されています
・春には一面の菜の花、冬には渡り鳥の姿など四季折々違った風景を見ることができます

9 ＜福田漁港＞

・シラス漁が盛んで、その品質は全国でも高く評価されています
・週末にはたくさんの釣り人が所狭しと釣り竿をのばしている風景や多くの漁船をみることもできます

磐田の特産物

生シラス
３月～翌年１月



縁起物として珍重されている「海老芋」は、日本一の生産量を誇っています。肉質が細かく煮込んでも煮崩れしにくいのが特徴です

海老芋（えびいも）
９月中旬～翌年３月

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆

好きこそものの上手なれ

（一社）静岡県危険物安全協会連合会　広報委員
島田・北榛原地区危険物安全協会副会長
中　野　重　男

今年の５月５日こどもの日、東京ドームは大いに盛り上がりました。長嶋茂雄・松井秀喜両氏の国民栄誉賞授与式が行われました。当日は用事があり、静岡の食堂で昼食を取りながらテレビで見ることができました。

私は、長嶋世代であり、長嶋選手に憧れ野球を始めました。というより、当時はテレビで見れるスポーツは、相撲か野球かという時代でした。必然的に巨人ファンであり、長嶋選手のプレイに一喜一憂し、引退の時は「巨人軍は永久に不滅です」を下宿の部屋で正座して涙し聞いていました。

野球が好きでも、現実は中学校は補欠、高校も野球部に入部しましたが３年間マネージャーとレギュラーには程遠い野球生活でした。大学へ進学し野球以外のクラブに入ろうと思い、文化系のサークルに入りましたが、部室から見える野球のユニフォーム姿の学生を見て、２ヶ月でサークルをやめ、準硬式野球部に入部しました。以降４年間野球を続け、卒業後も地元へ就職し地元の野球チームや地域の大会に参加してきました。

気がつけばもう少しで還暦です。現在も現役で野球を続けています。来年は還暦チームに入れるので、今から誘いを受けていて、楽しみにしています。

何事も年だからと思った時点で終わりになります。いつまでも「まだまだ」と気持ちがあれば、がんばれる気がします。

☆☆☆県危連からのお知らせ☆☆☆

危険物取扱作業に従事されている方へ　　**（法定講習）**

危険物取扱者保安講習のご案内

○各会場定員があります。定員に達した場合、講習日の変更をお願いする場合がございます。
○申請期間を新たに設けました。期間内に当連合会事務局に到着した申請者から申し込みを受け付けます。
○受講期日が変わりました（平成24年度から、４月１日～３月31日の間に受講すればよくなりました）。
◎平成２６年１月、２月期の講習は、受講者が多くなることが予想されますので、早めの受講をお願いいたします。

開催時期	申請締切り	種別	講習日	定員（名）	会場
25年 ７月期	５月１日（水） ↓ ５月31日（金） 締切日必着	給油取扱所	７月10日（水）午前	300	浜松市（浜北区貴布祢291-1「浜北文化会館」）
			７月24日（水）午前	300	沼津市（御幸町15-1「沼津市民文化センター」）
			７月26日（金）午後	300	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
		一般[1)]	７月９日（火）午後	300	浜松市（浜北区貴布祢291-1「浜北文化会館」）
			７月10日（水）午後	300	浜松市（浜北区貴布祢291-1「浜北文化会館」）
			７月23日（火）午後	300	沼津市（御幸町15-1「沼津市民文化センター」）
			７月24日（水）午後	300	沼津市（御幸町15-1「沼津市民文化センター」）
			７月25日（木）午前	300	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
			７月25日（木）午後	300	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
			７月26日（金）午前	300	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
			７月31日（水）午後	250	御殿場市（萩原988-1「御殿場市民交流センターふじざくら」）
25年 ９月期	７月１日（月） ↓ ７月31日（水） 締切日必着	給油取扱所	９月19日（木）午前	200	御前崎市（佐倉3617-1「佐倉公民館」）
			９月25日（水）午前	250	伊東市（和田1-16-1「伊東市観光会館」）
		一般[1)]	９月19日（木）午後	200	御前崎市（佐倉3617-1「佐倉公民館」）
			９月20日（金）午後	300	焼津市（三ケ名1550「焼津市文化会館」）
			９月25日（水）午後	250	伊東市（和田1-16-1「伊東市観光会館」）
25年10、11 月期	８月１日（木） ↓ ８月30日（金） 締切日必着	給油取扱所	10月17日（木）午前	300	富士市（蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」）
			10月24日（木）午前	180	静岡市（清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」）
			10月25日（金）午後	300	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
			11月６日（水）午後	300	浜松市（中区板屋町111-1「アクトシティ浜松コングレスセンター」）
			11月14日（木）午前	250	御殿場市（萩原183-1「御殿場市民会館」）
			11月22日（金）午前	300	三島市（一番町20-5「三島市民文化会館」）
			11月28日（木）午前	300	掛川市（満水2000「ヤマハリゾートつま恋」）
		一般[1)]	10月16日（水）午後	300	富士市（蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」）
			10月17日（木）午後	300	富士市（蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」）
			10月24日（木）午後	180	静岡市（清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」）
			10月25日（金）午前	300	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
			11月５日（火）午後	300	浜松市（中区板屋町111-1「アクトシティ浜松コングレスセンター」）
			11月６日（水）午前	300	浜松市（中区板屋町111-1「アクトシティ浜松コングレスセンター」）
			11月７日（木）午前	300	磐田市（上新屋304「アミューズ豊田」）
			11月７日（木）午後	300	磐田市（上新屋304「アミューズ豊田」）
			11月12日（火）午後	300	焼津市（三ケ名1550「焼津市文化会館」）
			11月14日（木）午後	250	御殿場市（萩原183-1「御殿場市民会館」）
			11月21日（木）午後	300	三島市（一番町20-5「三島市民文化会館」）
			11月22日（金）午後	300	三島市（一番町20-5「三島市民文化会館」）
			11月28日（木）午後	300	掛川市（満水2000「ヤマハリゾートつま恋」）
			11月29日（金）午前	300	掛川市（満水2000「ヤマハリゾートつま恋」）
			11月29日（金）午後	300	掛川市（満水2000「ヤマハリゾートつま恋」）
26年１月、 ２月期	12月２日（月） ↓ 12月27日（金） 締切日必着	給油取扱所	１月29日（水）午前	300	掛川市（満水2000「ヤマハリゾートつま恋」）
			２月６日（木）午前	300	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
			２月20日（木）午後	150	沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」）
		一般[1)]	１月29日（水）午後	300	掛川市（満水2000「ヤマハリゾートつま恋」）
			２月５日（水）午前	150	富士市（柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」）
			２月５日（水）午後	150	富士市（柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」）
			２月６日（木）午後	300	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
			２月19日（木）午後	150	沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」）
			２月20日（木）午前	150	沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」）

●「一般」は、コンビナート、給油取扱所に従事する人以外が対象です。
●**受講案内**（受講申請書）の入手方法（次のいずれかの方法で入手してください。）
（１）県内の各消防本部予防課内にある「地区協会」で配付しています。（一部の消防署にもあります。）
（２）（一社）静岡県危険物安全協会連合会のホームページからダウンロードしてください。
●**受講料**　4,700円（静岡県の証紙で支払ってください。）
●**受講申請書提出先**　一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会へ郵送またはご持参
（土・日・祝を除く平日8：30 ～ 17：00）ください。
●**問い合せ先**　一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会
〒４２０－０８５８静岡市葵区伝馬町２４番２相川伝馬町ビル７階
電話：０５４－２５２－５５１２ＦＡＸ：０５４－２７３－６５２４

静岡県（保安講習実施機関）
一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会（保安講習事務受託機関）　（Ｈ２５．４）

☆☆☆県危連からのお知らせ☆☆☆

危険物取扱者試験予備講習のご案内

１．県内の平均合格率より約1.7高い合格率(H24年２月乙４試験ー県危連アンケート調査結果ー)
２．県危連の講習の特徴（本年度より、より合格率が上がるよう受講システムを改善しました。）
●一度受講すると、合格まで何度でも無料で受講（有効期間1年）できます。
●わからなかった例題集の問題は、メール（ＦＡＸ）で個人に回答を解説します。
●不合格の方を対象に、無料の追加講習（実務編の物理・化学主体）を実施します。

●受講案内（受講申請書）の入手方法（以下のどちらか）
（１） 県下の消防本部予防課および消防署（一部）内にある「地区協会」で配付しています。
（２）（一社）静岡県危険物安全協会連合会のホームページからダウンロードしてください。

●受講申請書提出先
（一社）静岡県危険物安全協会連合会へ郵送してください。

●使用テキスト（テキストは指定です。以下のどちらかで**事前に購入し、講習前に一読して当日、持参してください。講習会場では販売しません**）
テキスト代　　４，０００円　（(一財）全国危険物安全協会のテキスト〈３冊１セット〉を使用）
（１）県下の消防本部予防課および消防署（一部）内にある「地区協会」で購入してください。
（２）（一社）静岡県危険物安全協会連合会で購入してください。（送付可。送料は受講者負担）

●講習種類と受講料（乙種第４類のみ）
（１）**１日講習**　　４，０００円（当日受付は５，０００円）
（２）**２日講習**　　７，０００円（当日受付は８，０００円）
２日講習は、講義だけでなく演習問題もやります。

●講習日程(未定分については、決定次第(一社)静岡県危険物安全協会連合会のホームページでお知らせします。)

開催時期	申請締切り	種　類	講習日	会　場
25年11月期 （試験日） 11月３日 11月10日	受講希望日の１週間前まで（必着）	１日講習	９月27日(金) 10月１日(火) 10月２日(水) 10月７日(月) 10月８日(火) 10月10日(木) 10月11日(金)	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」） 掛川市（大坂7373「掛川市文化会館シオーネ」） 浜松市（中区板屋町111-1「アクトシティ浜松研修交流センター」） 富士市（大渕2590-1「静岡県富士工業技術支援センター」） 沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」） 焼津市（三ケ名1550「焼津市文化会館」） 磐田市（二之宮東3-2「磐田市文化振興センター」）
		２日講習	９月28日(土)～９月29日(日) ☆10月５日(土)～10月６日(日) 10月12日(土)～10月13日(日) ☆11月３日(日)～11月４日(月)	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」） 沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」） 浜松市（中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」） 静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
追加講習（実務編）			12月14日(土) ９時30分～16時	静岡市（受講会場でお知らせします）
26年２月期 （試験日） ２月16日	受講希望日の２週間前まで（必着）	１日講習	１月14日(火) １月16日(木) １月20日(月) １月22日(水) １月23日(木)	浜松市（中区板屋町111-1「アクトシティ浜松研修交流センター」） 磐田市（二之宮東3-2「磐田市文化振興センター」） 静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」） 富士市（大渕2590-1「静岡県富士工業技術支援センター」） 沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」）
		２日講習	１月11日(土)～１月12日(日) １月18日(土)～１月19日(日) １月25日(土)～１月26日(日)	浜松市（中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」） 沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」） 静岡市（葵区鷹匠3-6-1「もくせい会館」）
追加講習（実務編）			３月29日(土) ９時30分～16時	静岡市（受講会場でお知らせします）

☆実務編を主体に開催します。(概ね　法令編３時間、実務編８時間30分)
☆２月期の２日講習は、11月期受講生の受講後のアンケート結果により、11月期と同様の時間配分になる場合もあります。

●問い合せ先　一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会（平成25年４月１日移行）
〒４２０－０８５８　静岡市葵区伝馬町２４番２　　相川伝馬町ビル７階
電話：０５４－２５２－５５１２　　ＦＡＸ：０５４－２７３－６５２４　　（Ｈ２５．８）

平成２４年度事業報告書

1　危険物保安管理対策事業

（１）保安管理に関わる人材育成等支援事業

①　危険物取扱者試験予備講習事業（継続事業；予備講習事業）

申請者【(　　）はH23実績】

・５月期	平成24年	４月17日～５月20日	11会場	３２２（４２１）人
・10月期	平成24年	９月15日～10月17日	11会場	３５５（４９７）人
・１月期	平成24年	12月20日～１月26日	８会場	２９９（３７５）人
		合　　計		９５６（1,２９３）人

②　危険物取扱者保安講習受託事業（その他事業：講習等受託事業）

申請者【(　　）はH23実績】

・７月期	平成24年	７月５日～８月22日	12会場	2,３１３（2,３１３）人
・９月期	平成24年	９月11日～９月18日	３会場	５０３（2,４８５）人
・11月期	平成24年	10月24日～12月18日	27会場	3,２２３（1,３７４）人
・２月期	平成25年	１月９日～２月28日	16会場	１,４６６（1,３５４）人
		合　　計		7,５０５（7,５２６）人

③　危険物管理技術研修会事業（継続事業；危険物管理等研修事業）

・日時　平成24年11月７日（水）
・会場　静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」
・講師　総務省消防庁危険物保安室課長補佐　三浦　宏
・演題　危険物保安行政の動向
・油吸着マットを中心に危険物対策関連商品の展示を行った。

④　地区協会等活動助成事業（継続事業；普及啓発・高揚事業）

・地区協会助成　　４件　（伊東、富士宮、御前崎、菊川）
・連絡会活動助成　　３件　（東部、中部、西部）

⑤　高圧ガス危険物防災訓練事業（継続事業；危険物管理等研修事業）

・日時　平成24年11月14日（水）
・会場　富士宮市上条　大石寺塔之原グランド（富士宮市消防本部）
・主催　静岡県、静岡県液化石油ガス地域防災協議会、(社)静岡県エルピーガス協会、
　（社）静岡県危険物安全協会連合会、富士宮市防火安全協会など10団体
・協力　静岡県警察本部、静岡県富士宮警察署、富士宮市消防本部

⑥　定期点検実施制度に係る業務受託事業（その他事業；講習等受託事業）

・事業者認定等事務（認定申請受理、認定証交付）（再認定含む）　４件
・認定事業者軽微変更届出事務（届出受理、付随業務）　０件
・認定事業者廃止届出事務（届出受理、付随業務）　０件
・認定事業者実態調査事務（認定事業者指導員との連絡調整など）　延べ９事業者
・点検済証交付事務　延べ19事業者　１,９５７枚

（２）災害事故防止普及啓蒙事業

① 危険物安全週間推進事業（継続事業；危険物安全週間推進事業）

・危険物安全大会への参加（継続事業；危険物安全週間推進事業）

日　時　　平成24年６月４日（月）
会　場　　スクワール麹町（東京都千代田区）
参加者　　18名（受賞者、地区協会職員、連合会職員）

・危険物施設安全推進講演会への参加（継続事業；危険物安全週間推進事業）
（東京会場）

日　時　　平成24年６月５日（火）
会　場　　スクワール麹町（東京都千代田区）
参加者　　22名（地区協会職員等）

・危険物安全週間啓発ポスター及び小冊子の配布（継続事業；広報活動事業）

ポスター　４，９６０枚
小冊子　　５，８５０冊

② 創立記念大会開催事業（継続事業；危険物安全週間推進事業）

・第４２回創立記念大会

日　時　　平成24年９月３日（月）
会　場　　静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」会議ホール風
受賞者　　（県知事）　７人、　２事業所
　　（会長）　６６人、１０事業所
記念講演　（演題）日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか
　　（講師）作家・慶応義塾大学講師、（一財）竹田研究会財団理事長
　　竹田　恒泰氏
参加者　　３１９人

③ 視聴覚教材整備事業（継続事業；広報活動事業）

（財）全国危険物安全協会編集発行
危険物施設におけるヒヤリハット　～より高い安全をめざして～

２　危険物関係図書等販売事業

（１）危険物関係図書等販売事業（その他事業：講習等受託事業）

① 危険物取扱者試験テキスト販売事業【（　　）はH23実績】

・平成24年度版危険物取扱必携法令編　　２，１２５（１，９１１）冊
・平成24年度版危険物取扱必携実務編　　２，０５２（１，９１６）冊
・平成24年度版危険物取扱者試験例題集乙種第四類　２，０９３（１，９４２）冊

② 定期点検簿販売事業【（　　）はH23実績】（その他事業：講習等受託事業）

・増刷数　１，０００（１，５００）冊
・販売数　　９３０（１，３４８）冊

３　会報発行等事業

（１）会報発行等事業（継続、その他、法人管理事業に按分）

① 会報発行事業（会報第６２号）

・発行　　平成24年９月
・紙版　　地区協会宛て：２８２冊、その他関係機関宛て：５２冊

・ウェブ版　平成24年11月１日（木）アップ
・地区協会等の会員企業の広告掲載（１０社）

②　ホームページ運営事業
・年間を通じて、危険物の保安管理等に関わる各種情報の提供
・会報への広告企業をホームページに掲載

4　その他事業（法人管理等事業）

（1）会議の運営

①　第１回　地区協会担当者及び保安講習講師担当者会議
・日時　平成24年５月11日（金）
・会場　静岡市産学交流センター（静岡市　ペガサート）
・県危連の事業計画推進への協力、平成24年度保安講習講師の依頼

②　連絡会調整会議
・日時　平成24年12月13日（木）
・会場　相川伝馬町ビル７階　会議室（静岡市）
・平成25年度の保安講習講師・講習会場及び会費の変更

③　常任委員会
（第１回広報委員会）
・日時　平成24年６月25日（月）
・会場　相川伝馬町ビル７階　会議室（静岡市）
　　平成24年度の広報活動計画

（第１回総務企画合同委員会）
・日時　平成24年５月23日（水）
・会場　相川伝馬町ビル７階　会議室（静岡市）
　　平成23年度決算、平成24年度の事業遂行関連

（第２回総務企画合同委員会）
・日時　平成25年２月14日（木）
・会場　相川伝馬町ビル７階　会議室（静岡市）
　　平成25年度予算、事業計画　平成24年度事業遂行状況

④　表彰特別委員会（継続事業：危険物安全週間推進事業）
（第１回）
・日時　平成24年６月25日（月）
・会場　相川伝馬町ビル７階　会議室（静岡市）
　　県知事表彰候補者、会長表彰等の選考
（第２回）
・日時　平成25年２月14日（木）
・会場　相川伝馬町ビル７階　会議室（静岡市）
　　消防庁長官表彰、全国危険物安全協会理事長表彰の候補者選考

⑤　理事会
（第１回）
・日時　平成24年６月15日（金）
・会場　クーポール会館（静岡市）

・議題　報告事項：平成24年度常任委員会、表彰特別委員会報告
　　決議事項：常任委員会・表彰特別員会委員選任、
　　第１回通常総会議案審議（平成24年度事業、平成24年度収支決算及び財産目録、理事等役員の選任）

（臨時理事会）
・日時　平成24年６月15日（金）
・会場　クーポール会館（静岡市）
・議題　決議事項：正副会長、常務理事の互選、会長職務代理順位
　　第１回通常総会議案審議（一般社団法人移行認可申請、定款変更、規則・規程等に関する件）

（第２回）
・日時　平成25年３月15日（金）
・会場　クーポール会館（静岡市）
・議題　報告事項：平成24年度事業実施状況、公益法人制度対応状況
　　決議事項：平成25年度事業計画、平成25年度収支予算

⑥　総会

（第１回）
・日時　平成24年６月15日（金）
・会場　クーポール会館（静岡市）
・議題　決議事項：平成24年度事業、平成24年度収支決算及び財産目録、理事等の選任理事の選任、監事の選任、一般社団法人移行認可申請、定款変更、規則・規程等に関する件

（第２回）
・日時　平成25年３月15日（金）
・会場　クーポール会館（静岡市）
・議題　報告事項：平成24年度事業実施状況、公益法人制度対応状況
　　決議事項：平成25年度事業計画、平成25年度収支予算

⑥　正副会長会議

（第１回）
・日時　平成24年６月15日（金）
・会場　クーポール会館（静岡市）

（第２回）
・日時　平成24年９月３日（月）
・会場　静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」（静岡市）

（第３回）
・日時　平成24年11月７日（水）
・会場　静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」（静岡市）

（第４回）
・日時　平成24年11月26日（月）
・会場　相川伝馬町ビル７階　会議室（静岡市）

（第５回）
・日時　平成25年２月14日（木）
・会場　相川伝馬町ビル７階　会議室（静岡市）

（第６回）
・日時　平成25年３月15日（金）
・会場　相川伝馬町ビル７階　会議室（静岡市）

貯留設備（油分離装置）の清掃

（２）会議等への参加

①　都道府県危険物安全協会連合会事務局長会議

・日時　平成24年４月19日（木）

・会場　スクワール麹町（東京都千代田区）

②　北陸・東海ブロック県危険物安全協会連合会事務局長会議

・日時　平成24年８月23日（木）～ 24日（金）

・会場　石川県金沢市

③　会長研修会

・日時　平成25年１月18日（金）

・会場　スクワール麹町（東京都千代田区）

（３）他団体事業への協力事業

①（財）全国危険物安全協会会費

②　県幼少年女性防火委員会協力費

（４）事務局の運営

年間を通じて総務、経理処理等の業務推進

ＬＰガス・ガス器具・ガス工事の専門企業

伊豆市エルピーガス事業協同組合

叡知を集結して！

◆組合所在地　〒410-2416　伊豆市修善寺６番地の５

TEL ＜055＞－947－6633　FAX ＜055＞－947－6634

代表理事；植松楯彦　副理事長；萩原裕一　専務理事；松本昭二

伊豆の国市エルピーガス事業協同組合

叡知を集結して！

◆組合所在地　〒410-2201　伊豆の国市古奈80番地の１

TEL ＜055＞－947－6633　FAX ＜055＞－947－6634

代表理事；山田宗克　副理事長；土屋　登　専務理事；松本昭二

◆組合事務所　〒410-2223　伊豆の国市北江間107番地の５

TEL ＜055＞－947－6633

FAX ＜055＞－947－6634

☆☆☆県危連からのお知らせ☆☆☆

平成24年度 収支計算書

平成24年04月01日から平成25年03月31日まで

科　　目	H24年度 予算額（千円）	H24年度 決算額（千円）	増減	摘　　要
Ⅰ事業活動収支				
Ⅰ－1　事業活動収入	49,281	48,586	695	
1　法人会計	4,776	4,796	△ 20	
1）　特定資産運用収入	573	573	0	
特定資産利息収入	573	573	△ 0	
2）　会費収入	4,200	4,200	0	
正会員会費収入	4,000	4,000	0	
賛助会員会費収入	200	200	0	
3）　雑収入	3	23	△ 20	
受取利息収入	3	23	△ 20	
	3	23	△ 20	利息、創立記念大会祝儀、広告収入の1割
2　継続事業会計	7,968	5,778	2,190	予備講習受講人数減
継続事業収入		4,757		
補助金収入		958		
広告等収入		63		
3　その他事業会計	36,537	38,011	△ 1,474	保安講習受講人数増
その他事業収入		37,113		
補助金収入		867		
広告等収入		31		
Ⅰ－2　事業活動支出	48,494	48,133	361	
1．法人管理事業	7,323	7,630	△ 307	連絡会交付金の一部を含む
2．人件費[1)]	11,097	11,582	△ 485	
3．事業活動	30,074	28,921	1,153	
1）　継続事業	10,890	8,981	1,909	予備講習受講人数減
2）　その他事業	19,184	19,940	△ 756	保安講習受講人数増
事　業　活　動　収　支	787	453	334	
Ⅱ　投資活動収支の部				
1　投資活動収入	0	0	0	
2　投資活動支出	620	620	0	
Ⅲ　財務活動収支の部				
1　財務活動収入	0	0	0	
2　財務活動支出	0	0	0	
Ⅳ　予備費支出				
1　予備費	167	0	167	
Ⅴ　収支差額				
1　当期収支差額	0	△ 167	167	
2　前期収支差額	24,873	21,460	3,413	
3　次期収支差額	24,873	21,293	3,580	

注1）　H25年度決算より、法人管理、継続、その他事業に按分

平成２５年度事業計画書

H24年度の事業を全て継続するが、新法人移行に伴い各事業を公益性が強い「継続事業」と、収益のある「その他事業」に分類する。

Ⅰ　継続事業（人材育成と普及啓発事業）
Ⅰ-１　人材育成事業
Ⅰ-２　普及啓発事業
Ⅱ　その他事業（保安管理講習に関する受託と図書販売事業）
Ⅱ-１　受託事業
Ⅱ-２　図書販売事業
Ⅲ　法人管理事業

Ⅰ　継続事業（公益事業）
Ⅰ－１　危険物の保安管理に関わる人材育成事業
（１）危険物取扱者試験予備講習事業
　危険物取扱者試験受験者（乙種４類）の受験者を対象に受験対策講習を開催し、合格率を向上させることにより危険物取扱者の増員を図る。（今年度の98％見込み）
・１日講習　年３期（延べ19会場）　延べ６５０名
・２日講習　年３期（延べ10会場）　延べ２９０名
（２）視聴覚教材整備事業
　（財）全国危険物安全協会、全国保安技術協会が発行する教育用ビデオやＤＶＤを購入し、危険物取扱事業所における社員教育や一般県民、学校等の危険物に関する安全教育のために無料貸出しを行う。また、保安講習に活用することにより人材育成を図る。
（３）危険物管理等技術研修事業
①管理技術研修会
　危険物取扱者、危険物施設管理者、消防職員などを対象に危険物の保安管理に関する知識、技術の習得を行う。
・開催時期　平成25年11月19日（火）
・グランシップ（静岡市駿河区）
・講演講師　吉田明夫氏　地震予知判定委員会委員
・参加者数　約２５０名
②高圧ガス危険物防災訓練事業
　静岡県、高圧ガス関係団体、消防機関などと協力し、高圧ガスと危険物に関わる防災訓練を行い、災害事故への対処方法の習熟を図る。
・開催地の地区協会と共同参加
・平成25年10月30日（水）　袋井市
（４）講演会等人材育成事業（地区協会、連絡会、他団体との共催・協力・参加事業）
①県危険物安全協会連合会と地区協会が連携し、地域に対応した危険物安全思想の普及啓蒙の促進を図るために、市民が広く参加できる講演会等を行う。
②（財）全国危険物安全協会等が主催する全国レベルの講演会等の紹介や参加を要請し、危険物に係わる人材の育成を図る。

Ⅰ－２　危険物災害事故防止思想の普及啓発、高揚事業

（１）表彰関連事業

危険物による災害事故の防止に不断の努力を重ね、危険物の保安推進を図り、著しい成果を収めた個人及び危険物取扱事業所に対し、国や県表彰候補者を選考するとともに、県連合会会長表彰を行う。また、表彰に合わせて記念講演も行う。

①表彰特別委員会の開催

・消防庁長官表彰（H25年２名）及び、（財）全国危険物安全協会理事長表彰（H25年６名）候補者の推薦
・県知事表彰候補者の選考
・県危険物安全協会連合会会長表彰者の決定

②創立記念大会開催事業

・開催時期　９月17日（火）
・場所　グランシップ（静岡市駿河区）
・記念講演講師　志村和夫静岡理工科大学教授
・参加者　３５０名

（２）広報活動事業

①安全週間推進ポスター等の掲示・配付を行い、災害事故防止思想の普及啓発を図る。

・危険物安全週間　平成25年６月２日（日）～８日（土）
・安全週間推進ポスター　約５,０００枚
・危険物に関する小冊子　約６,８００冊

②防火の集い等県や防火協会が推進する青少年育成の為の大会等に協力し、青少年の危険物に対する安全思想の育成を図る。

Ⅱ　その他事業（収益事業）

Ⅱ－１　保安管理等受託業務事業

（１）危険物取扱者保安講習

危険物取扱者に課せられる保安講習（消防法第13条の23）の事務を静岡県知事から委託を受け実施する。これにより危険物取扱者の知識、技術の向上を図る。

・受講生　：約７,０００名
・会場　：東、中、西部の各地区　計11市（予定）
・時期　：夏期（７月）、秋期（９～11月）、冬期（12～2月）
・出張講習　：一般及びコンビナート講習　100～人／回　開催できる企業等

但し、平成２５年度の講師は未定のため実施時期・会場等の変更が見込まれる。

（２）定期点検実施制度に係る業務

地下タンク及び移動タンクの定期点検を行う認定事業者の認定事務、同事業者に対する実態調査などを支援する。

・認定事業者：（財）全国危険物安全協会の講習を受け認定された事業者

Ⅱ－２　危険物関係図書等販売事業

危険物取扱者試験受験者及び危険物取扱事業所の利便性を高めるため、関係図書等を販売する。

（１）危険物取扱者試験テキスト等販売事業

乙種第４類の危険物取扱者試験受験者に対して（財）全国危険物安全協会編集発行の受験用テキスト（３種類）を販売する。

（２）定期点検簿販売事業

危険物施設の定期点検の内容を容易に把握でき、かつ点検結果を記録するための記録簿を作成し販売する。

Ⅲ　法人管理事業

（１）会議の開催

①総会
②理事会
③正副会長会議
④常任委員会（総務、企画、広報）
⑤表彰特別委員会（Ⅰ-２　普及啓発事業の表彰関連事業に移行）
⑥保安講習講師及び地区協会担当者会議（Ⅰ、Ⅱの事業に按分移行）
⑦東中西３連絡会（会議等をⅠ、Ⅱの事業に按分、活動助成金をⅢの事業に按分）

（２）会議への参加

①都道府県危険物安全協会連合会事務局長会議
②北陸・東海ブロック県危険物安全協会連合会事務局長会議
③都道府県危険物安全協会連合会会長等研修会
④静岡県危険物運搬車両事故防止等対策協議会

（３）他団体事業への協力事業

①（財）全国危険物安全協会会費
②県幼少年女性防火委員会協力費（Ⅰ-２　普及啓発事業に移行）

（４）　総務・会計事務（事務局の運営）

Ⅳ　Ⅰ～Ⅲにまたがる主な事業

（１）　広報活動事業

①ホームページ運営事業

　連合会のホームページに危険物に関連する各種情報（予備講習及び保安講習の受講案内、危険物関連情報、会報など）を提供する。

②会報発行事業

　年１回、会報を作成し関係先に配付するとともに、ホームページ上に掲載し、災害事故防止思想の普及啓発を図る。なお、紙ベースも約350部を配付予定。

消火器の使い方

安全ピンを抜く　　ホースを向ける　　レバーを握る

平成２５年度収支予算損益計算ベース（正味財産増減計算ベース）

平成２５年４月１日から平成２６年３月３１日

(単位：千円)

科　目	実施事業等会計（人材育成と普及啓発事業）				その他会計（受託と図書販売事業）				法人会計（管理費）		合計	
	人材育成事業		人材育成事業		受託事業		図書販売事業					
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度
Ⅰ　一般正味財産増減の部											0	0
１．経常増減の部											0	0
（１）経常収益											0	0
特定資産運用益	0				0				573	573	573	573
特定資産受取利息									573	573	573	573
受取入会金	0				0				0	0	0	0
受取入会金											0	0
受取会費	0				0				4,200	4,200	4,200	4,200
正会員受取会費									4,000	4,000	4,000	4,000
賛助会員受取会費									200	200	200	200
事業収益	6,606	4,630			28,046	28,200	7,919	7,380			42,571	40,210
受講料収益	6,606	4,630									6,606	4,630
受託料収益					28,046	28,200					28,046	28,200
図書等販売収益							7,919	7,380			7,919	7,380
受取補助金等	1,285	985			539	290	0	488			1,824	1,763
（財）全国危険物安全協会助成金	1,285	985		0	539	290		488			1,824	1,763
受取負担金												
受取負担金												
受取寄付金												
受取寄付金												
雑収益	66	30		30	33	15		15	14	13	113	103
受取利息									3	3	3	3
広告収入	66	60			33	30			11	10	110	100
経 常 収 益 計	7,957	5,645	0	30	28,618	28,505	7,919	7,883	4,787	4,786	49,281	46,849
（２）経常費用											0	0
事業費・管理費	16,697	13,926	0	1,146	22,679	17,978	0	4,701	9,738	9,588	49,114	47,339
役員報酬									0	0	0	0
給料手当	4,683	4,683			2,813	2,813			1,942	1,942	9,438	9,438
臨時雇賃金	0				841	841					841	841
退職給付費用	304	304			186	186			130	130	620	620
福利厚生費	820	820			509	509			342	342	1,671	1,671
会議費	273	273			121	121			1,045	620	1,439	1,014
会場費	1,478	1,478			1,468	1,468					2,946	2,946
旅費交通費	858	658			781	781			423	428	2,062	1,867
通信運搬費	39	39			510	510			179	179	728	728
消耗品費	1,675	475			48	48			306	306	2,029	829
印刷製本費	1,439	1,439			928	928			252	252	2,619	2,619
光熱水費	0	0			0	0			258	258	258	258
賃借料	0	0			0	0			2,703	2,703	2,703	2,703
諸謝金	1,327	1,102			768	768			20	20	2,115	1,890
支払負担金	897	897			0	0			56	56	953	953
助成金									0	270	0	270
委託費	1,588	1,588			2,545	2,200		700	181	181	4,314	4,669
サイト運営費	237	118		119	101	50		51	25	25	363	363
保守料									127	127	127	127
図書購入費	1,023	24		999	10,959	6,654		3,950	55	55	12,037	11,682
修繕費	0	0			0				45	45	45	45
研修費	0	0			0				45	45	45	45
保険料	0	0			29	29			0	0	29	29
支払会費									447	447	447	447

平成２５年度収支予算損益計算ベース（正味財産増減計算ベース）

平成２５年４月１日から平成２６年３月３１日

(単位：千円)

科　目	実施事業等会計（人材育成と普及啓発事業）				その他会計（受託と図書販売事業）				法人会計（管理費）		合計	
	人材育成事業		人材育成事業		受託事業		図書販売事業					
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度
租税公課									1,060	1,060	1,060	1,060
雑費	56	28		28	72	72			97	97	225	225
経常費用計	16,697	13,926	0	1,146	22,679	17,978	0	4,701	9,738	9,588	49,114	47,339
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,740	△ 8,281	0	△ 1,116	5,939	10,527	7,919	3,182	△ 4,951	△ 4,802	167	△ 491
基本財産評価損益等												
特定資産評価損益等												
投資有価証券評価損益等												
評価損益等計												
当期経常増減額	△ 8,740	△ 8,281	0	△ 1,116	5,939	10,527	7,919	3,182	△ 4,951	△ 4,802	167	△ 491
２．経常外増減の部											0	0
（１）経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
											0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（２）経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
											0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,740	△ 8,281	0	△ 1,116	5,939	10,527	7,919	3,182	△ 4,951	△ 4,802	167	△ 491
一般正味財産期首残高											0	0
一般正味財産期末残高	△ 8,740	△ 8,281	0	△ 1,116	5,939	10,527	7,919	3,182	△ 4,951	△ 4,802	167	△ 491
Ⅱ　指定正味財産増減の部											0	0
受取補助金等												
一般正味財産への振替額												
当期指定正味財産増減額	0				0				0		0	0
指定正味財産期首残高												
指定正味財産期末残高	0				0				0		0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	△ 8,740	△ 8,281	0	△ 1,116	5,939	10,527	7,919	3,182	△ 4,951	△ 4,802	167	△ 491

情報連絡活動

視聴覚教材一覧

連合会で整備している視聴覚教材です。県内への貸出しは無料ですので、市民の普及啓蒙活動や従業員教育などにご活用下さい。

（製作：（一財）全国危険物安全協会）

年度	タイトル	媒体	時間	備考
Ｈ　２	危険物施設の定期点検	ＶＨＳ	21分	
Ｈ　２	危険物の性質と事故	ＶＨＳ	21分	
Ｈ　３	危険物施設の日常点検	ＶＨＳ	20分	
Ｈ　４	危険物施設と静電気	ＶＨＳ	21分	
Ｈ　５	お父さんはタンクローリーの運転手	ＶＨＳ	20分	
Ｈ　６	災害事例から学ぶ	ＶＨＳ	20分	
Ｈ　７	事故だ！その時あなたは？	ＶＨＳ	20分	
Ｈ　８	給油取扱所の安全を築く	ＶＨＳ	30分	
Ｈ　８	危険物施設の腐食を防ぐ	ＶＨＳ	30分	
Ｈ　８	危険物の安全な容器と運搬	ＶＨＳ	23分	
Ｈ　８	屋外タンクの設置と安全性（設計から完成まで）	ＶＨＳ	29分	
Ｈ　９	地震だ！あなたはどうする ～危険物～	ＶＨＳ	20分	
Ｈ１０	目で見るヒヤリ・ハット ～コンビナート施設～	ＶＨＳ	21分	
Ｈ１１	給油取扱所の安全を守る ～危険物保安監督者の責務～	ＶＨＳ	20分	
Ｈ１２	安全はみんなのもの ～ヒューマンエラーと保安対策～	ＶＨＳ	21分	
Ｈ１３	安全はみんなのもの ～工事中の事故防止～	ＶＨＳ	20分	
Ｈ１４	安全はみんなのもの ～給油取扱所の安全管理～	ＶＨＳ	16分	
Ｈ１５	ＫＹＴ手法による事故防止	ＶＨＳ	18分	
Ｈ１５	危険物の漏えいによる環境汚染を防ぐために	ＶＨＳ	29分	KHK版
Ｈ１６	事故事例に学ぶ日常点検のあり方～日常に潜む危険～	ＶＨＳ	20分	
Ｈ１７	自主保安へ たしかな一歩を～自主保安確立のための新たな視点～	VHS･DVD	20分	
Ｈ１８	危険物施設の自主保安～リスクは潜む～	VHS･DVD	22分	
Ｈ１８	危険物　６つの扉～危険物の性状と消火の方法～	ＶＨＳ	31分	KHK版
Ｈ１８	給油取扱所の安全を考える～ガソリンスタンドの火災防止対策～	ＶＨＳ	25分	KHK版
Ｈ１８	危険物施設の火災を防げ!～固定泡消火設備の仕組みと使い方～	ＶＨＳ	35分	KHK版
Ｈ１９	安全はつくるもの！ ～事故防止対策の推進～	VHS･DVD	27分	
Ｈ２０	地震に備えていますか!? ～事前の地震対策～	VHS･DVD	29分	
Ｈ２１	危険物施設の流出事故を防げ！ ～危険物施設　流出事故ファイル～	VHS･DVD	28分	
Ｈ２２	事例に学ぶ危険物施設の火災予防　～事故ゼロをめざして～	DVD	29分	
Ｈ２３	危険物施設の事故事例に学ぶ保安対策　～危険物取扱者の役割～	DVD	36分	
Ｈ２４	危険物施設におけるヒヤリハット－より高い安全をめざして－	DVD	37分	
Ｈ２５	危険物取扱者の地震発生時の対応－その時あなたは何をすべきか－	DVD	37分	

※ＫＨＫ：危険物保安技術協会

☆☆☆県危連からのお知らせ☆☆☆

平成２５年度（一社）静岡県危険物安全協会連合会役員名簿

報告事項４

役　職　名	氏　　名	所　属　役　職　名
顧　　問	小川　英雄	静岡県危機管理監兼危機管理部長
同	長田　光明	静岡県消防長会会長
同	中村　捷二	前連合会会長
参　　与	塩崎　弘典	静岡県危機管理部消防保安課長

会　長（理事）	山梨　透	静岡市防災協会会長
副会長（理事）	中島　博康	沼津市防火協会会長
同	鈴木　裕司	浜松市危険物安全協会会長
同	大河原　三雄	島田・北榛原地区危険物安全協会副会長
常務理事	日吉　公男	連合会事務局長
理　　事	杉山　友裕	富士市防火協会会長
同	吉村　鉄也	焼津市危険物安全協会前会長
同	鈴木　厚	磐田市危険物安全協会会長
監　　事	望月　久司	静岡市防災協会副会長
監　　事	東野　哲二	富士市防火協会副会長
地区協会会長	松本　大明	下田地区危険物安全協会会長
同	古屋　一弥	東伊豆町危険物安全協会会長
同	井原　宏政	伊東市危険物安全協会会長
同	内田　進	熱海市防火協会会長
同	内藤　明彦	西伊豆広域危険物安全協会会長
同	松本　昭二	田方防火協会会長
同	菊地　広明	清水町防火協会会長
地区協会副会長	波多野　秀樹	三島市防火協会副会長（危険物関連担当）
地区協会会長	佐野　倫明	長泉町防火協会会長
同	柴田　泰彦	裾野市防火協会会長
同	那須野　孝之	御殿場市小山町防火安全協会会長
同	山本　裕	富士宮市防火安全協会会長
同	池田　敦郎	焼津市危険物安全協会会長
同	桑木　剛一郎	藤枝市危険物安全協会会長
同	仲田　勝利	島田・北榛原地区危険物安全協会会長
同	加藤　裕之	吉田榛原危険物安全協会会長
同	河原﨑　勝弘	牧之原市相良地区危険物安全協会会長
同	宮城　道雄	御前崎市危険物安全協会会長
同	黒田　晃治	菊川市危険物安全協会会長
同	深野　勝則	掛川市危険物安全協会会長
同	伊藤　文夫	袋井保安管理協会会長
同	村田　匡人	湖西市危険物安全協会会長

平成25年度各種委員会委員の名簿

１　委員の選任（○　新任委員）

１　常任委員会

（１）総務委員会（委員長：鈴木　裕司連合会副会長）

鈴木　裕司　（浜松市）	青木　　徹　（焼津市）
松本　大明　（下田地区）	土屋　　仁　（藤枝市）
井原　宏政　（伊東市）	加藤　裕之　（吉田榛原）
波多野秀樹　（三島市）	深野　勝則　（掛川市）
佐野　倫明　（長泉町）	田村　　仁　（磐田市）
山本　　裕　（富士宮市）	

（２）企画委員会（委員長：大河原三雄連合会副会長）

大河原三雄（島田・北榛原地区）	秋田　眞行（藤枝市）
稲葉　智之（東伊豆町）	宮城　道雄（御前崎市）
向井　和之（熱海市）	深野　勝則（掛川市）
那須野孝之（御殿場市小山町）	伊藤　文夫（袋井）
渡邉　隆司（清水町）	

（３）広報委員会（委員長：中島　博康連合会副会長）

中島　博康（沼津市）	竹下　幸嗣（静岡市）
○清水　圭司（西伊豆広域）	中野　重男（島田・北榛原地区）
松本　昭二（田方）	黒田　晃治（菊川市）
○柴田　泰彦（裾野市）	龍光　純男（磐田市）
杉山　友裕（富士市）	忠内　伸浩（湖西市）

２　特別委員会（表彰関係）

山梨　　透　連合会会長
中島　博康　連合会副会長
鈴木　裕司　連合会副会長
大河原三雄　連合会副会長
波多野秀樹　（三島市、東部地区）
○池田　敦郎　（焼津市、中部地区）
黒田　晃治　（菊川市、西部地区）
日吉　公男　（連合会事務局長）

☆☆☆県危連からのお知らせ☆☆☆

（一社）静岡県危険物安全協会連合会地区協会事務局住所

（平成25年４月１日）

	地区協会名	郵便番号	住所	電話番号	会員数H25.1.1
東部	下田地区危険物安全協会	415-0026	下田市6丁目1番地14号 下田消防本部内	0558-22-1849	67
	東伊豆町危険物安全協会	413-0411	東伊豆町稲取17番地の10 東伊豆町消防本部内	0557-95-0119	38
	伊東市危険物安全協会	414-0013	伊東市桜木町1丁目1番3号 伊東市消防本部内	0557-38-0198	137
	熱海市防火協会	413-0015	熱海市中央町1番18号 熱海市消防本部内	0557-86-6622	114
	西伊豆広域危険物安全協会	410-3514	西伊豆町仁科392番地 下田消防本部西伊豆消防署内	0558-52-1099	38
	田方防火協会	410-2318	伊豆の国市白山堂327番地の1 田方消防本部内	0558-76-2280	185
	沼津市防火協会	410-0053	沼津市寿町２番10号 沼津市消防本部内	055-920-9101	259
	清水町防火協会	411-0903	清水町堂庭212番地の1 清水町消防本部内	055-973-0119	32
	三島市防火協会	411-0837	三島市南田町4番40号 三島市消防本部内	055-972-5802	104
	長泉町防火協会	411-0942	長泉町中土狩910番地の1 長泉町消防本部内	055-986-1199	50
	裾野市防火協会	410-1117	裾野市石脇515番地 裾野市消防本部内	055-992-3212	80
	御殿場市小山町防火安全協会	412-0026	御殿場市東田中1丁目19番1号 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部内	0550-83-0119	184
	富士市防火協会	417-8601	富士市永田町1丁目100番地 富士市消防本部内	0545-55-2860	227
	富士宮市防火安全協会	418-8601	富士宮市弓沢町150番地 富士宮市消防本部内	0544-22-1199	191
中部	静岡市防災協会	420-0853	静岡市葵区追手町6番2号 静岡市消防局内	054-255-9702	363
	焼津市危険物安全協会	425-0041	焼津市石津728番地の2 志太消防本部消防指導課	054-623-2587	181
	藤枝市危険物安全協会	426-0022	藤枝市稲川200番地の1 志太消防本部内	054-641-9205	146
	島田･北榛原地区危険物安全協会	427-0048	島田市旗指513番地の1 島田市消防本部内	0547-37-0171	180
	吉田榛原危険物安全協会	421-0301	吉田町住吉1386番地の5 吉田町牧之原市広域施設組合消防本部内	0548-32-7944	140
	牧之原市相良地区危険物安全協会	421-0523	牧之原市波津191番地1 牧之原市相良消防本部	0548-53-2128	107
西部	御前崎市危険物安全協会	437-1602	御前崎市比木1911番地の2 御前崎市防本部内	0537-85-2119	77
	菊川市危険物安全協会	439-0019	菊川市半済1776番地の1 菊川市消防本部内	0537-35-3284	116
	掛川市危険物安全協会	436-0079	掛川市掛川1102番地の2 掛川市消防本部内	0537-21-6103	217
	袋井保安管理協会	437-0064	袋井市川井996番地の2 袋井市森町広域行政組合袋井消防本部内	0538-44-5115	181
	磐田市危険物安全協会	438-0071	磐田市福田400 磐田市消防本部内	0538-59-1720	217
	浜松市危険物安全協会	430-0905	浜松市中区下池川町19番1号 浜松市消防局内	053-476-1476	740
	湖西市危険物安全協会	431-0442	湖西市古見1076番地 湖西市消防本部内	053-574-0212	82
合計					4,453

注）会員事業所数は、平成２５年１月１日現在

☆☆☆編集後記☆☆☆

今年４月１日　ようやく一般社団法人へ移行しました。２年前に赴任し、「公益法人制度」の動きなど全く寝耳に水の中で移行手続きを行う事になりました。連合会顧問の公認会計士には「担当していないので相談に乗れない。」と断られ、様々な団体や税理士からもアドバイスの申し込みがありましたが、経費節減のためにこれらを使わず何とか法人移行ができました。

これも、会員の皆様方や旧職場の先輩方のアドバイスのおかげだと、人脈のありがたさを痛感いたしました。

これでようやく一息と思っていたのですが、保安講習の講師の問題や予備講習受講生の大幅な減少など、連合会の抱える問題は山積みです。

とても年内で解決できる課題ではありませんが、これからも、会員の皆様方や、消防機関の皆様方のお知恵を拝借し、また、ご指導をお願いして、連合会を今まで以上に発展させていきたいと考えておりますので、ご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

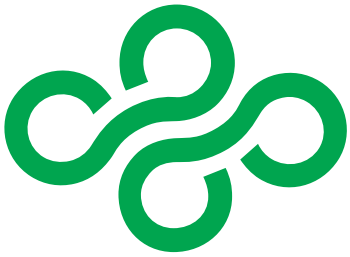
「会報」　第６３号

平成２５年９月３０日　発行

○発行所　　一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会
〒420-0858　静岡市葵区伝馬町24番２号
相川伝馬町ビル７階
電　話　０５４－２５２－５５１２
ＦＡＸ　０５４－２７３－６５２４
E-mail：sizu-kenkiren@muse.ocn.ne.jp
http://www.11.ocn.ne.jp/~s-kiren/

○発行人　　会長　山梨　透
○編　集　　広報委員会

県危連「シンボルマーク」



1997年に県危連のシンボルマークを一般公募した結果、鈴木範夫氏の作品が選ばれた。

このマークは、危険物の「危」を図案化したもので、緑色は安全を意味している。

表紙写真の説明

題　　名　　三保の松原
写 真 提 供　　静岡市観光協会

ユネスコの諮問機関イコモス(国際記念遺跡会議)の現地調査において、「三保の松原」を富士山の世界遺産登録の審査対象から外すように意見が出されましたが、平成25年6月に第37回世界遺産委員会において世界遺産(文化遺産)に登録されました。

神聖で荘厳な姿の富士山は、山域から山頂への登拝及び山麓の霊地への巡礼を通じて、富士山を居処とする神仏の霊力を獲得し、自らの擬死再生を求めるという富士山信仰を育みました。

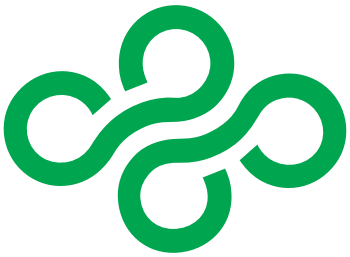
12世紀前半に活躍した修行僧の末代上人は、山頂に大日寺を築きました。

室町時代後半には、修験者とともに一般庶民も登拝するようになりました。

戦国時代に長谷川角行が、新たな富士山信仰を教義としてまとめたと言われ、江戸中期には、「富士講」として大流行し、多くの人々が富士登山や富士五湖等霊地への巡礼が行われました。

また、芸術面からみると、「万葉集」「竹取物語」「古今和歌集」などの古典だけでなく、夏目漱石、太宰治など、非常に多くの文学作品に取り上げられています。更に、絵画の面からみても江戸時代の「富嶽三十六景」「東海道五十三次」などの浮世絵は、ゴッホやモネなど、海外の印象派の画家たちに影響を与えています。この様に、富士山は文化的な遺産にふさわしい価値があります。

静岡県内の世界文化遺産富士山の構成資産は以下の通りです。

1．富士山本宮浅間神社（富士宮市）
2．山宮浅間神社（富士宮市）
3．村山浅間神社（富士宮市）
4．須山浅間神社（裾野市）
5．富士浅間神社（須走浅間神社　小山町）
6．人穴富士講遺跡(富士宮市)
7．白糸の滝（富士宮市）
8．三保松原（静岡市）
9．大宮・村山口登山道（富士宮）
10．須山口登山道（御殿場市）
11．須走口登山道（小山町）
12．山頂の信仰遺跡群（山梨・静岡両県）

―参照　富士山世界文化遺産両県県民会議パンフレット―